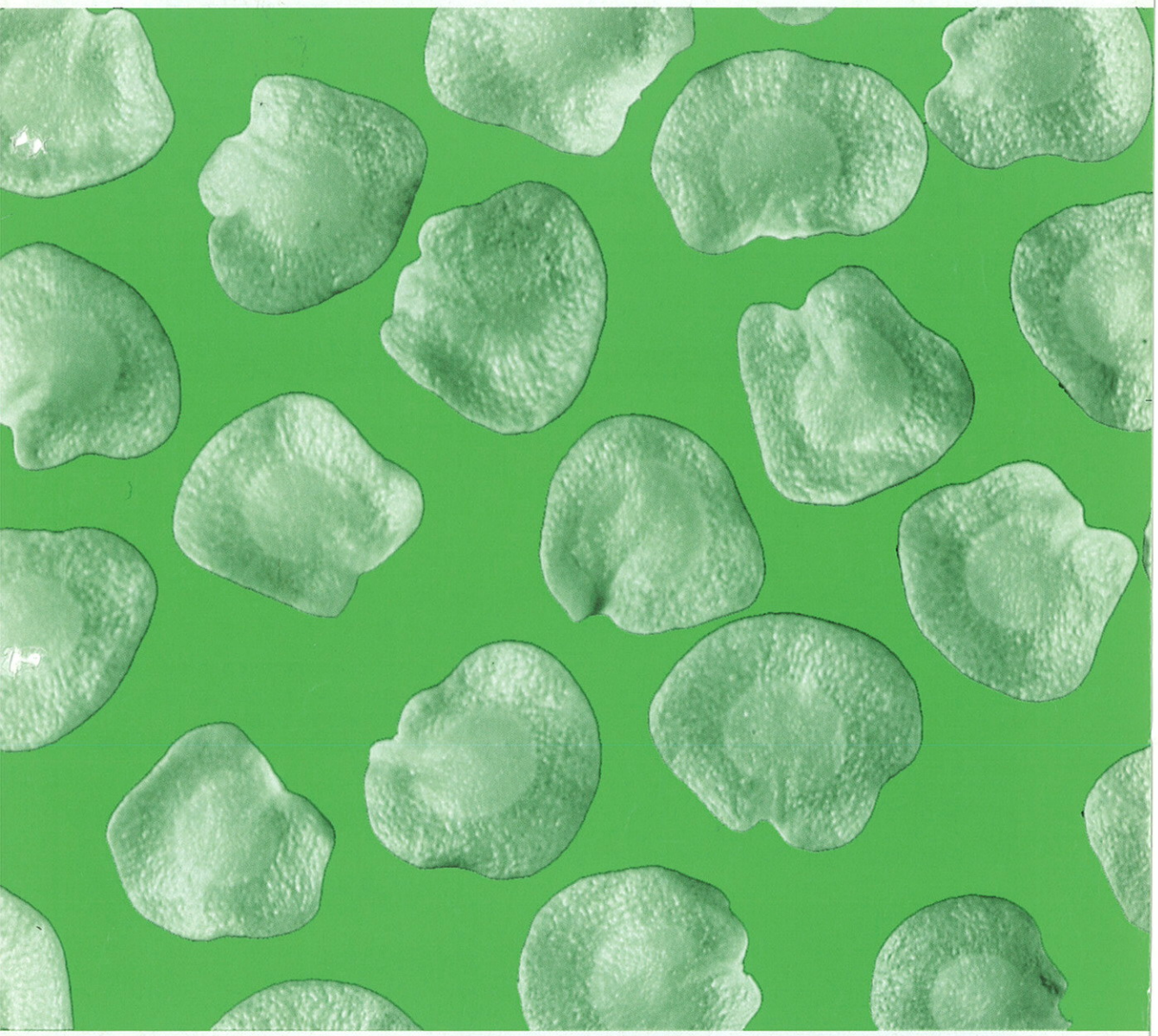
ISSN 0289-8233

植調

第41巻第11号



キンギンナスビ（*Solanum aculeatissimum* Jacq.）長さ5mm

財団法人　日本植物調節剤研究協会編
http://www.japr.or.jp/

よりよい農業生産のために。三共アグロの農薬

●SU抵抗性雑草(ホタルイ等)に3成分で効果がある一発処理除草剤
クサトリーDX®
ジャンボ®H/L・1キロ粒剤75/51・フロアブルH/L

●効きめの長〜い 初・中期一発処理除草剤!!
ラクダープロ®
フロアブル・Lフロアブル・1キロ粒剤75/51

●白化させて枯らす 非SU型初・中期一発剤!!
イネエース®
1キロ粒剤

●がんこな草も蓋白に 初・中期一発処理除草剤!!
シロノック®
1キロ粒剤75/51・H/Lフロアブル・H/Lジャンボ®

●三共アグロの優れた製剤技術から生まれた グリホサート液剤
三共の草枯らし®

●使いやすい初期一発処理除草剤
三共スラッシャ®
粒剤・1キロ粒剤

●ノビエ3.5葉期まで使える新しい中期除草剤
ザーベックスDX®1キロ粒剤

●畦畔からの侵入雑草に効果ある中期剤
カービー®1キロ粒剤

●一成分で一掃、初期除草剤
ベクサー®フロアブル・1キロ粒剤

●時代先どり、ジャンボな省力 投げ込むだけの一発処理除草剤
クサトリエース®
Hジャンボ®・Lジャンボ®

●移植前後に使える初期除草剤
シング®乳剤

●SU抵抗性のアゼナ・ホタルイに!
クサコンド®
フロアブル

●最初に抑える、幅広く抑える初期除草剤
三共スウィープ®フロアブル

●田植同時処理が可能な一発剤
クサカリテイオー
1キロ粒剤75/51・H/Lフロアブル

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

三共化学グループ
三共アグロ株式会社
東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

詳しくは、ホームページで!

三共アグロネット会員募集中!
http://www.sankyo-agro.com/

サービス1 インターネット栽培履歴管理システム「かすが日誌」
サービス2 登録内容携帯電話チェック
サービス3 登録情報メールサービス
無料

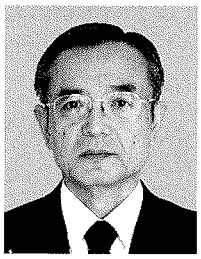
イノーバDXアップなら
広範囲の雑草を
一発でラクラク防除!

●ノビエの2.5葉期まで使える初・中期一発剤。一年生から多年生まで広範囲の雑草に有効で、田植同時処理にも最適。
●SU抵抗性雑草(ホタルイ・コナギ・アゼナ類)にも有効。

楽に、一発。一発処理除草剤

バイエル イノーバ®DXアップ
1キロ粒剤

Bayer CropScience
バイエルクロップサイエンス株式会社
www.bayercropscience.co.jp



巻頭言

「えーっ」と驚いた各地の多様な風景

(財) 日本植物調節剤研究協会　評議員
(財) 残留農薬研究所　常務理事
森田利夫

これまで初めて見た時，聞いた時「えーっ」と思わされた風景をいくつか紹介します。私の受け止め方ですから「そんなことか」や「間違い」もご容赦を。

竹の分げつ

ＪＩＣＡの技術協力プロジェクト調査団の一員として度々インドネシアを訪れる機会がありました。あちこち回りましたが，移動中一番目についたのが，ぎっしり束になって生えている竹の林。

尋ねると竹は分げつで増えるとのこと。そう言われてみると，水稲の株を大きくした感じなのかもしれません。しかし，そんなことが想像もできないほど猛々しい眺めで，日本の管理された竹林の風情とは異次元の世界でした。

夏に花がない

大阪花博は1990年4月から9月までの半年間開催されました。初期の準備に関わりましたが，思わぬ苦労をしたのは夏の展示。

夏は緑の濃い時期で，「花と緑」の博覧会に最適の時期のように思えるのですが，実はさにあらず。日本の夏は暑すぎ，花にとって夏枯れとも言える時期だったのです。

花博以降夏の暑さに強い花が増えてきたように思われますが，当時はヨーロッパのとの差を痛感させられました。

道端のシクラメン

花博で一度だけヨーロッパに出張する機会がありました。仕事柄イギリスのキューガーデンの視察も日程にあり，オオオニバス等の珍しい植物を目にしましたが，一番印象に残ったのは移動途中の道端のシクラメン。丁度ミニシクラメン程度の大きさだったと思います。

当時，近所の温室で毎年シクラメンを買っていましたが，ミニを見た記憶があまりなかったので特に印象に残ったのでしょうか。日本のタンポポのように，道端でたくましく生きているように感じられました。

梨穂木の輸出

植物防疫所は病害虫の侵入を防止するための輸入植物の検査だけでなく，相手国の要求に応じて輸出植物の検査も行っています。輸出検査でこんなことがやられているのかと感心したのが台湾向け日本梨の穂木の輸出。

この穂木は苗木に仕立てるためのものではありませんでした。年中温暖な台湾では日本梨が花芽を付けないので，花芽を付けた穂木を毎年大量に輸入し，在来種に接いで１年限りの日本梨生産を行っていたのです。

軒下までの雑草

以前農薬検査所の近くに木造平屋建ての都営住宅がありました。現在では４階建ての立派な建物になっていますが，建替えのため一時全世帯が退去しました。

その間，世話をする人もいないのに残された花が咲き，夏には軒下にまで届こうかとするほどの雑草が繁茂。イギリスからの客人にわざと見せた記憶があります。

ゴルフはイギリス発祥とのことですが，彼の地と異なり日本でのゴルフ場管理の大変さを感じさせられた風景でもありました。

これらを通じて

ここで述べたような自然条件のほか，社会・経済的条件の異なる様々な地域があることを経験させていただきました。

農業分野においては特に地域の特質に配慮した試験研究や施策の展開が重要ですが，国際的食料争奪戦が始まろうとしている昨今，我が国において農薬の役割が正当に評価されることを期待して止みません。

目　　次

（第 41 巻 第 11 号）

巻　頭　言

「えーっ」と驚いた各地の多様な風景 …… 1

<(財)日本植物調節剤研究協会　評議員
(財)残留農薬研究所　常務理事　森田　利夫>

《シリーズ》 果樹の生育調節剤研究の現状(20)

果実の成熟・品質の制御

－果肉の水浸症状発生の制御－ …… 3

<(独)農業・食品産業技術総合研究機構
果樹研究所　樫村　芳記>

鹿児島県における畑作雑草防除への雑考 …… 18

<鹿児島県農業開発総合センター　露重　美義>

平成 19 年度水稲作関係除草剤試験成績概要 … 27

<(財)日本植物調節剤研究協会>

植調だより …… 108

シリーズ 果樹の生育調節剤研究の現状(20)

果実の成熟・品質の制御
－果肉の水浸症状発生の制御－

（独）農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 樫村芳記

1. はじめに

リンゴなど多くの果実は，柔組織によって果肉が形成されている。柔組織は，薄い細胞壁で囲まれた多面体状の柔細胞で構成されているが，果肉では果実の成熟に伴ってこれらの細胞間に隙間が生じる。リンゴ等の果実では，通常，このような細胞間隙は空気で満たされているが，何らかの原因により空気ではなく水分で満たされると，果肉は透明感のある水浸状を呈する。気泡を多く含んだ氷は白く濁って見えるが，気泡を含まない氷は透き通って見えることと同様である。

リンゴ果実におけるこのような症状は，一般に「みつ」，「みつ入り」と呼ばれる。リンゴのみつは熟度の進んだ果実ほど入りやすいため，我が国では完熟果実，高品質果実であることを示すものとして肯定的に捉えられている。ただし，著しくみつの入った果実は，貯蔵中に果肉褐変を起こしやすく，貯蔵向け果実の生産においては生理障害の一つと見なされる。なお，リンゴの水浸症状は，未熟な果実でも発生することがあり「早期みつ」等と呼ばれる。

一方，日本ナシでは，「豊水」等の成熟果実において気象条件により水浸症状が多発することがあり，本症状は「みつ症」と呼称される。みつ症発生部位は，流通中に変色し，時には組織が崩壊し空洞を生じることもあるため，発生果実の商品性は皆無に等しい。

また，近年，モモにおいても熟度の進んだ果実で果肉が水浸状を呈し，褐変する障害の発生が増加しており大きな問題となっている。本障害は，日本ナシのみつ症に類似していることから，同様に「みつ症」と呼ばれることが多い。

以上のように，リンゴ，日本ナシ，モモの果実では，果肉に水浸症状が発生することがあり，商品性低下につながることも多いため，発生機構の解明や発生制御技術の開発が進められている。ここでは，これらの水浸症状について，発生の様態や生理活性物質の影響等を主体に，これまでに得られている知見について概説する。

2. リンゴ

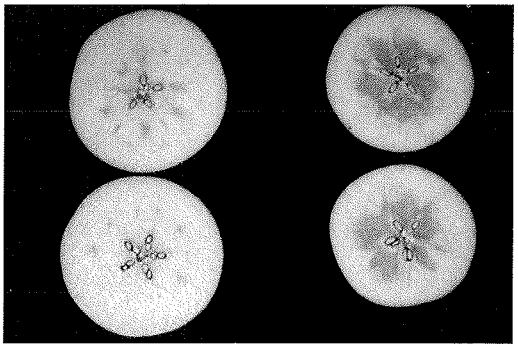
リンゴ果実におけるみつの発生程度は品種によって大きく異なり，我が国の主力品種である「ふじ」は最もみつの発生しやすい品種の一つである。一方，「つがる」や「王林」等ではほとんど発生しない。みつは，多くの場合は成熟果実の果心部付近に発生するが，果実の熟度とは関係なく夏季の高温期に果肉部に発生することもある。通常，リンゴのみつと言えば前者を指し，後者は「早期みつ early watercore」，「高温誘導みつ症 high temperature-induced watercore」等として区別される（福田，1989；Yamada et al., 2005）。ここでも，この区分

にしたがって解説する。

1）みつ

①発生の様態

欧米では，リンゴ果実に発生するみつを‘watercore’と呼ぶが，必ずしも果心（core）に発生するわけではなく，がく維管束や花弁維管束から果肉（皮層）内に放射状に広がる場合も多い（Brown, 1943）。みつの入りやすい部位は，品種によって異なり，「ふじ」では主に果心部に，「デリシャス」や「紅玉」では主に果肉部に発生する（福田ら，1979）。また，このようなみつの入り方は，産地によっても異なり，ニュージーランド国内の寒冷地と暖地における「ふじ」のみつ入りを比較すると，寒冷地では果心部主体にみつが入るのに対し，暖地では主に果肉内に放射状に発生する（Clark et al., 1998 ; Harker et al., 1999）。みつ入りは成熟期の低温によって促進されるが（Williams and Billinsley, 1973 ; 苫名・山田，1988 ; Yamada et al., 1994 ; Yamada and Kobayashi, 1999），「ふじ」では，果心部のみつ入りは，果肉部のみつ入りに比べて低温による促進程度が大きいことが実験的に明らかにされており（写真－1）（樫村ら，1992），産地によるみつの入り方の違いは，温度条件の相違に依るものと推測される。



写真－1　成熟期の気温がリンゴ「ふじ」のみつ入りに及ぼす影響
（左：昼温 20℃－夜温 10℃、
右：昼温 15℃－夜温 5℃）

リンゴのみつは，樹上でのみ発生し，貯蔵後は急激に消失するが，収穫時におけるみつ入りの程度が著しいほど貯蔵中に果肉の褐変を生じやすい（Lord and Southwick, 1964）。このような，みつ入り果において貯蔵中に発生する内部褐変は「みつ褐変watercore breakdown」と呼ばれる（Smock, 1977）。みつ褐変は，みつが消失した後に増加し（Lord and Damon, 1966 ; Bramlage and Thompson, 1967），褐変部位にみつが残存することは少ない。なお，褐変部位にみつを含む場合のみをみつ褐変と呼ぶこともある（福田，1977）。みつの入った果実はアセトアルデヒド含量が高く，褐変との因果関係が疑われているが，詳細は明らかとなっていない（Smagula and Bramlage, 1977）。

みつの入った果肉組織では，細胞間隙にソルビトールやショ糖が蓄積する傾向が認められる（Williams, 1966）。特に，リンゴ等バラ科植物における主要な転流糖であるソルビトールの含量はみつ発生部位で顕著に高い。このため，リンゴのみつは，ソルビトールの蓄積により細胞間隙の浸透圧が高まる結果，水分が引き寄せられることにより発生するものと考えられている。細胞間隙にソルビトールが蓄積する機構としては，①細胞膜等の劣化による細胞内からのソルビトールの溶出，②細胞内におけるソルビトール代謝活性の低下による取り込み量の減少，③ソルビトールの細胞内への取り込み活性の低下などが考えられている。①については，「ひめかみ」に低温処理を行ってもみつ入りは促進されるもののK^+の溶出速度には影響が見られないなど否定的な知見が多い（Yamada and Kobayashi, 1999）。また，果実における

ソルビトール代謝の鍵となるソルビトール脱水素酵素の活性には，みつが入りやすい品種と入りにくい品種との間で差は認められず，みつ入りとの関係は明らかでない（Marlow and Loescher, 1985）。一方，みつの入った果実では，細胞へのソルビトール取り込みを担っているソルビトール・トランスポーターの遺伝子発現が抑制されていることが報告されている（Gao et al., 2005）。このように，みつ入りの機構については未だ不明な点が多く，今後の研究に待つところが大きい。

②生育調節剤による発生制御

みつ入りは，果実の成熟が進むに伴い進展することから，果実の成熟を促進あるいは遅延する生理活性物質の影響を受ける。リンゴは，典型的なクライマクテリック型果実であり，成熟はエチレンによって促進される。このため，エチレン発生剤であるエテホンはみつ入りを促進し，エチレン生合成阻害剤であるaminoethoxyvinylglycine（AVG）やaminooxy acetic acid（AOA）はみつ入りを抑制する（表－1，表－2）（Couey and Williams, 1973 ; Drake et al., 2005）。エテホン同様に果実の成熟を促進する2,4-DPやNAAなどのオーキシン様生理活性物質もみつ入りを促進する（表－3）（福田ら，1985）。一方，ジベレリン生合成阻害剤であるダミノジッドは，みつ入りを遅延させるが，これも果実成熟を遅らせる結果

表－1　エテホンおよびエチレン生成抑制剤がリンゴ「デリシャス」のみつ入りに及ぼす影響

	みつ入り指数 (0～5)	果肉硬度 (lb)	糖度	酸含量 (g/100ml)	果心内エチレン濃度 (μl/l)
無処理	2.4	16.0	12.3	0.36	27.90
エテホン (300ppm[z])[y]	4.0	17.3	13.2	0.37	83.90
AVG (4mM)[x]	0.8	16.1	11.5	0.39	0.08
AOA (5mM)[x]	1.8	15.9	12.3	0.37	2.66

[z] 成分濃度　[y] 収穫29日前に散布.
[x] 収穫17日前から4日毎に計5回散布.
（樫村，未発表）

表－2　AVGおよびエテホンがリンゴ「デリシャス」のみつ入りに及ぼす影響

	みつ入り果率 (%)	果心内エチレン濃度 (mg/l)
無処理	8.0	2.9
AVG[z]	3.0	0.2
AVG[z]+エテホン150mg/L[y](2WBH[x])	13.0	0.3
AVG[z]+エテホン300mg/L[y](2WBH[x])	10.0	0.7
AVG[z]+エテホン150mg/L[y](1WBH[x])	7.0	0.3
AVG[z]+エテホン300mg/L[y](1WBH[x])	12.5	0.3

[z] 濃度125mg/Lで収穫4週間前に散布.
[y] 成分濃度　[x] エテホンを収穫の2週間前又は1週間前に散布.
(Drake et al., 2005)

表－3　オーキシン様生理活性物質がリンゴ「デリシャス」のみつ入りに及ぼす影響

	みつ入り指数 (0～4)	果肉硬度 (lb)	糖度	酸含量 (g/100ml)
無処理	2.5	15.3	12.1	0.31
2,4-DP 30ppm × 2[z]	3.5	15.6	12.9	0.31
2,4-DP 45ppm × 2[z]	3.7	15.9	13.0	0.32
NAA 20ppm[y]	3.2	15.3	12.5	0.32

[z] 収穫25日前および15日前に散布.
[y] 収穫15日前に散布.
（福田ら，1985）

表－4　Daminozideがリンゴ「デリシャス」のみつ入りに及ぼす影響

処理濃度[z] (ppm)	みつ発生果率(%) 満開後日数 160	167	174	果肉硬度 (lb) (満開160日後)	糖　度
0	56	78	89	17.1	11.8
1000	8	35	57	18.9	11.2
2000	16	50	74	19.0	11.2

[z]満開14～20日後に散布.　(Batjer and Williams, 1966)

表－5　ホウ素がリンゴ「紅玉」のみつ入りおよび果肉褐変に及ぼす影響

[z]ホウ素資材（$Na_2B_8O_{13}\cdot 4H_2O$(78%)+$Na_2B_4O_7\cdot 5H_2O$(20%)）の0.12%水溶液を満開日から5日毎に散布.
(Bramlage and Thompson, 1962)

散布回数[z]	みつ発生果率 (%)	果肉褐変果率(%) 貯蔵期間(週) 8	15
0	0.0	2.6	3.4
2	0.4	2.2	4.0
3	2.6	5.0	7.0
4	3.6	2.6	8.6
5	4.6	8.2	21.6

表－6　ホウ素およびカルシウムがリンゴ「ふじ」のみつ入りに及ぼす影響

	みつ入り指数 (0～5)	果肉硬度 (lb)	糖　度	酸含量 (g/100ml)
無　処　理	3.3	11.7	13.7	0.352
Ca散布[z]	3.3	11.4	13.6	0.355
Ca+B散布[y]	4.4	13.6	13.2	0.318

[z]5月27日、6月6日、6月20日、8月4日、8月26日に0.4%ギ酸カルシウムをそれぞれ散布.
[y]5月27日、6月6日に0.4%ホウ酸および0.4%ギ酸カルシウムの混合液を、6月20日、8月4日、8月26日に0.4%ギ酸カルシウムをそれぞれ散布.
(福元ら, 1989)

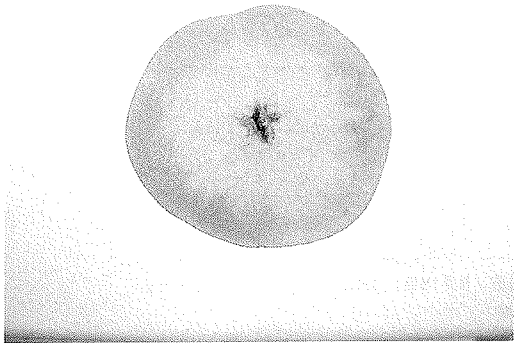
と考えられる（表－4）(Batjer and Williams, 1966)。ダミノジッドは，エテホンによるみつ入り促進も抑制する（Greene et al., 1977)。

また，リンゴのみつ入りはホウ素によって促進されることが明らかにされている（表－5，表－6）(Bramlage and Thompson, 1962；福元ら，1989；福元，1992)。ホウ素処理はみつ入りだけでなく，酸含量の減少，エチレン生成の増加も促進するが，果肉の軟化は抑制する。なお，ホウ素の処理は，果心褐変等の過剰障害を引き起こすおそれがあるため注意を要する。過剰障害を引き起こすことなく「ふじ」のみつ入りを促進するには，8月下旬から9月上旬に0.1%のホウ素を葉面散布するとともに，連年処理を避けることが適当とされている（福元，1992)。

カルシウム剤は，日本ナシのみつ症を軽減することが報告されているが，リンゴのみつ入りに対する影響はほとんど認められない（表－6）(福田，1977；福元ら，1989)。

2）早期みつ

早期みつは，7月～9月の高温期に発生すること，樹冠外周部に着生した果実に発生が多いことなどから高温障害の一種ではないかと考えられている。海外では，早期みつでも発生部位が褐変することが報告されているが，我が国では，ほとんどが収穫期までに消失し，褐変することもないため実害を生じることはない（福田，1989)。早期みつの発生程度にも品種間差があり，主要品種では「つがる」，「王林」などで発生し，成熟期にみつが入りやすい「ふじ」で



写真－2　日本ナシ「豊水」のみつ症

は発生しない（Yamada et al., 2005）。早期みつにおいても，成熟期のみつと同様に発生に伴うソルビトール含量の増加が報告されている（Yamada et al., 1998 ; Yamada et al., 2001）。

3. ナシ

我が国における主力品種の一つである「豊水」では，成熟果実において水浸症状が激発することがある（写真－2）。本症状は，維管束周辺に発生が多いこと，発生部位にソルビトールが蓄積すること，成熟に伴い発生すること，貯蔵中に消失することなどリンゴのみつと類似点が多いことから「みつ症 watercore」と呼ばれる（Kajiura et al., 1976）。ただし，「豊水」のみつ症発生部位は，リンゴとは異なり短期間のうちに褐変するだけでなく，組織が崩壊して空洞を生じることもある（Kajiura et al., 1976）。このため，みつ症発生果の商品性は著しく低く，生産現場では大きな問題となっている。一方，「新高」でも同様な障害の発生が問題となっているが，「豊水」のみつ症は成熟期の低温によって促進されるのに対し，「新高」では8月～9月の高温乾燥で促進されることから，地球温暖化による発生の増加が懸念されている。

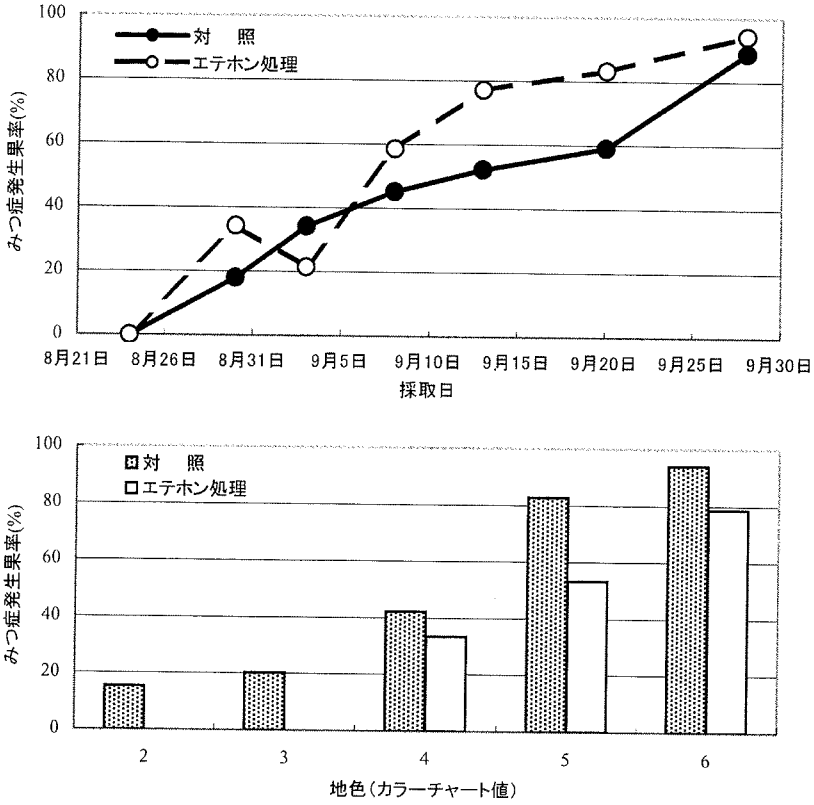
1）「豊水」

①発生の様態

「豊水」のみつ症は，果皮直下の果肉，特にていあ部側の果皮直下に発生することが多い（写真－2）。症状が激しい場合を除き，外観から発生の有無を判別することは困難である。

みつ症は冷夏の年に多発する傾向にある（山崎，1983）。夏季の低温は，地色の変化よりも果肉の成熟を促進するため，いわゆる「果肉先熟（外観よりも果肉の成熟が先行した状態）」となる結果，みつ症の発生が増加するものと考えられている。7月（満開80～100日後）に高温処理と低温処理を行い，地色の同じ果実を比較すると，みつ入り，比重や果肉硬度の低下何れもが低温により促進されたことから（猪俣ら，1993），この時期の低温は果肉の成熟を特異的に促進し，みつ入りを助長するものと考えられる。なお，低温に遭遇させる前の6月に高温処理するとみつ症の発生がさらに促進される傾向が報告されている（猪俣ら，1993）。みつ症発生と気象条件との関係を統計的に解析した結果からも，みつ症の発生率は，満開91～100日後の最高気温が低いほど高く，満開11～20日後又は満開21～30日後の最低気温が高いほど高いとの相関関係が認められている（川瀬ら，1995）。なお，みつ症の発生を促進する7月の低温処理やジベレリン（以下，「GA」），エテホンの処理は，何れも果肉組織からのK^+溶出速度の上昇時期を早めることから，みつ症発生には膜の透過性が関与する可能性が示唆される（猪俣ら，1993）。

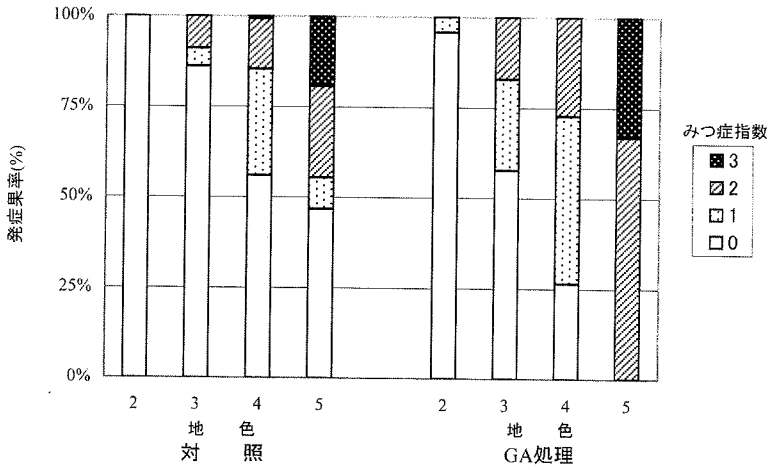
気温の影響ほど明確ではないが，みつ症は，黒ボク土壌で発生が多く，灰色低地土では少ない傾向が報告されている（折本・佐久間，1993）。また，発生を促進する栽培条件としては，過剰



図－1　エテホンが日本ナシ「豊水」のみつ症発生に及ぼす影響

注) エテホン(成分濃度で100ppm) を満開114日後に散布.

(木村ら,1977)



図－2　GA処理が日本ナシ「豊水」のみつ症発生に及ぼす影響

注) GA処理は$GA_3$6%を含む粘着テープを5月15日に果梗部へ貼付.

(猪俣ら,1993)

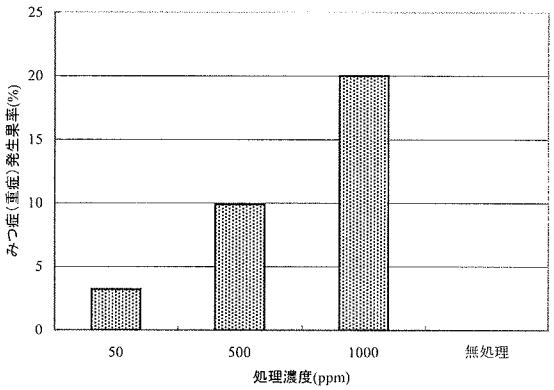
な施肥（佐久間ら，1996）や強度の摘果（佐久間ら，1998）が指摘されている。

②生育調節剤による発生制御

「豊水」のみつ症も，リンゴのみつと同様にエテホンによって発生が促進される（図－1）（木村ら，1977；猪俣ら，1993；猪俣ら，1999）。ただし，エテホンを処理した果実と無処理の果実について地色を揃えて比較すると，みつ症の発生は，むしろ処理果実で少ない傾向にある（図－1）（木村ら，1977）。したがって，エテホンは成熟を促進することによりみつ症の発生時期を前進させるものであり，発生傾向を高めるものではないと考えられる。また，植物体内の生合成系におけるエチレンの前駆物質である1-aminocyclopropane-1-carboxylic acid（ACC）も成熟を促進し，みつ入りを助長することが報告されている（佐久間ら，1999；梅谷ら，1999）。

一方，塗布剤が日本ナシの成熟促進，果実肥大促進に用いられるGAは，みつ症発生を顕著に促進することが明らかにされている（図－2）（猪俣ら，1993）。GA処理は，エテホンとは異なり同じ地色の無処理果と比較してもみつ症発生率が高く（図－2）（猪俣ら，1993），果肉の成熟を特異的に促進するものと考えられる。夏季の低温は果実のGA含量を高めることから（猪俣ら，1996），このような気象条件下におけるみつ症の多発にはGAが関与していることが推測される。GAのみつ症発生促進効果は，処理濃度が高いほど高く（図－3），満開4～6週後の処理で特に効果が高い（図－4）（佐久間ら，1995）。なお，この処理時期は，ジベレリン塗布剤の使用時期として登録されている期間（満開30～40日後）と一致する。

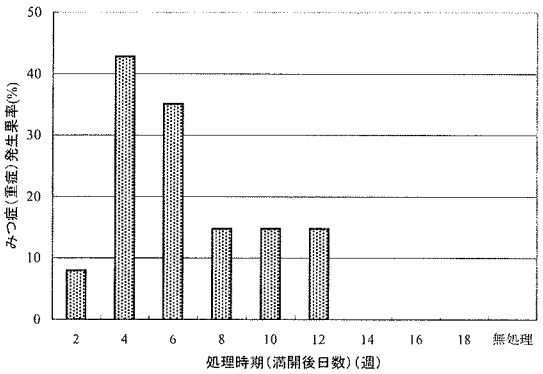
みつ症の発生はGAにより助長されることから，ジベレリンの生合成阻害剤による発生制御について検討がなされ，パクロブトラゾール（前川・輪田，1992；梅谷・佐久間，1993；佐久間ら，1995；猪俣ら，1996）やプロヘキサジオンカルシウム塩（猪俣ら，1996）の処理で顕著な抑制効果が認められている（図－5）。ただし，パクロブトラゾールは，新梢伸長の抑制に加えて，果実重の減少等の品質低下を招くとの問題が指摘されている（猪俣ら，1996）。一方，プロヘキサジオンカルシウム塩も新梢伸長や果実肥大を抑制するが，満開6週後及び8週後に2回



図－3　GAの処理濃度が日本ナシ「豊水」のみつ症発生に及ぼす影響

注）ジベレリン溶液を果実に散布.

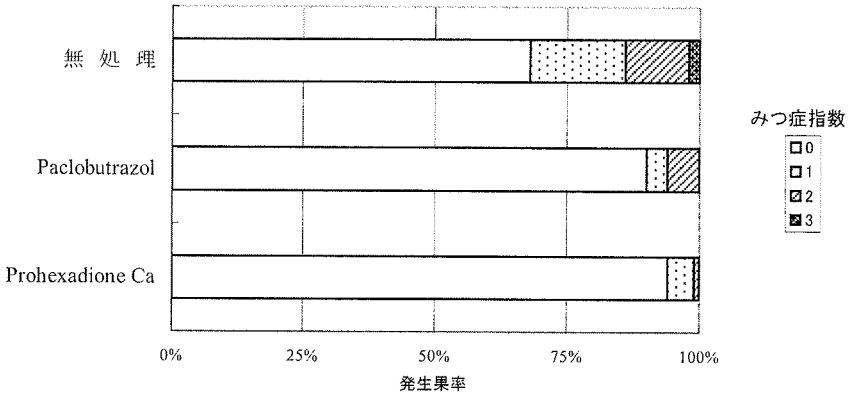
（佐久間ら,1995）



図－4　GAの処理時期が日本ナシ「豊水」のみつ症発生に及ぼす影響

注）ジベレリン塗布剤を果梗に30mg塗布

（佐久間ら,1995）



図－5　ジベレリン生合成阻害剤が日本ナシ「豊水」のみつ症発生に及ぼす影響

注) Paclobutrazol：500ppm溶液を満開1ヶ月後から8月19日まで10日間間隔で果実に塗布.
Prohexadione Ca：1000ppm溶液を満開2週後から2週間間隔で4回主枝全体に散布.
発生果率：8月22日から9月17日までの間に収穫した果実全体における比率.
(猪俣ら,1996)

処理することにより，新梢伸長や果実品質に大きな影響を及ぼすことなくみつ症を抑制できるとされている（猪俣ら，1996）。プロヘキサジオンカルシウム塩の処理は，組織からのK^+溶出速度を低下させることから（猪俣ら，1996），成熟に伴う膜の透過性の上昇を遅延させることによりみつ症の発生を抑制している可能性が考えられる。

ジベレリン生合成阻害剤ほど顕著ではないが，カルシウム剤にもみつ症発生を抑制する効果が認められる。カルシウム剤の処理効果にはばらつきが見られるが，散布するよりもペースト状にして果梗に塗布する方が効果が高い傾向にある（表－7）（田中ら，1992）。塗布剤としては，アミノ酸キレートカルシウム（川瀬・関本，

表－7　カルシウム資材およびカルモジュリン阻害剤が日本ナシ「豊水」のみつ症発生に及ぼす影響

			みつ症発生程度 (0～3)
カルシウム資材	対　照		0.53
	塩化Ca (0.1%)	8月6日及び15日に散布	0.34
		8月15日に果梗部に塗布	0.17
	対　照		0.50
	酢酸Ca (0.1%)	8月15日に果梗部に塗布	0.13
	クエン酸Ca (0.1%)	8月15日に果梗部に塗布	0.27
	グルコン酸Ca (0.1%)	8月15日に果梗部に塗布	0.20
	対　照		0.33
	Ca-EDTA (0.1%)	8月6日及び15日に散布	0.34
		8月15日に果梗部に塗布	0.07
カルモジュリン阻害剤	対　照		0.10
	Lidocaine (0.1%)	8月6日及び15日に散布	0.10
		8月15日に果梗部に塗布	0.20
	対　照		0.03
	Chloropromazine (0.1%)	8月6日及び15日に散布	0.10
		8月15日に果梗部に塗布	0.00
	対　照		0.23
	Trifluoperazine (0.1%)	8月6日及び15日に散布	0.89
		8月15日に果梗部に塗布	0.89

(田中ら, 1992)

1991)，塩化カルシウム，酢酸カルシウム，クエン酸カルシウム，グルコン酸カルシウム，カルシウム-EDTA（田中ら，1992）などで効果が認められている。一方，散布剤としては，炭酸カルシウム（前川・輪田，1992；梅谷・佐久間，1993；猪俣ら，1999），硫酸カルシウムと塩化カルシウムの混合剤（牛島ら，2000），有機酸キレートカルシウムと塩化カルシウムの混合剤（平原，2003）などで効果が認められているが，実用的な抑制効果を得るためには複数回にわたる重複散布が必要である（表－8）。ただし，散布が重なると果実表面に剤の粒子が残存することがあるため，炭酸カルシウムを用いる場合は，満開2週後から2週間間隔で5回散布することが実用的とされている（猪俣ら，1999）。なお，炭酸カルシウムは，果実に直接散布することが必要である（前川・輪田，1992）。

カルシウム-EDTAの塗布処理は，エテホンによるみつ症発生促進作用を打ち消すため（表－9），カルシウムは成熟を遅延させることによりみつ症発生を抑制する可能性が示唆される。一方，猪俣ら(1999)は，難溶性の炭酸カルシウムは果実に吸収されにくいと考えられることから，果実の蒸散を促進することでみつ症発生を軽減しているのではないかと推測しているが，カルシウムが生理活性を示す上で重要なタンパク質であるカルモジュリンの作用を阻害するtrifluoperazineを処理するとみつ症発生が助長されることから（田中ら，1992），カルシウムが直接みつ症発生に関与している可能性も考えられる。

表－8　炭酸カルシウムが日本ナシ「豊水」のみつ症発生に及ぼす影響

	みつ症発生程度 (0～3)	果肉硬度 (lb)	地　色 (カラーチャート値)	比　重
9月9日収穫果				
無 処 理	0.53±0.08	3.0±0.2	3.4±0.2	1.004±0.003
2回散布[z]	0.29±0.05	3.0±0.1	3.5±0.2	1.004±0.001
5回散布[z]	0.16±0.04	2.9±0.1	3.6±0.1	1.004±0.003
8回散布[z]	0.03±0.01	3.1±0.1	3.4±0.1	1.007±0.001
9月16日収穫果				
無 処 理	0.54±0.10	2.8±0.1	4.2±0.2	0.986±0.005
2回散布[z]	0.21±0.07	2.6±0.2	4.2±0.2	0.987±0.007
5回散布[z]	0.20±0.05	2.8±0.1	4.1±0.2	0.986±0.005
8回散布[z]	0.09±0.03	3.3±0.2	4.2±0.3	0.985±0.007

[z] 炭酸カルシウムの3%溶液を満開2週後から2週間間隔で各回数，主枝全体に散布．　（猪俣ら，1999）

表－9　エテホンおよびカルシウム資材が日本ナシ「豊水」のみつ症発生に及ぼす影響

	みつ症発生程度 (0～3)	果肉硬度 (lb)	糖　度
対　照	0.20±0.04	3.3±0.1	11.9
エテホン[z]	2.73±0.11	2.7±0.1	12.3
エテホン[z]+Ca-EDTA[y]	0.25±0.10	3.5±0.1	11.9

[z] 8月22日に25ppm（成分濃度）溶液を果面全体に散布．
[y] 8月22日にCa-EDTA(0.1%ペースト）を果梗に塗布．　（田中ら，1992）

表－10　アミノ酸キレートカルシウムペースト[z]が日本ナシ「新高」の水ナシ果（みつ症）発生に及ぼす影響

処理時期	水ナシ果重症果率 (%)	水ナシ果指数 (0～3)	果肉硬度 (kg)
満開60日後	35.7	1.6	1.11
満開90日後	35.3	1.6	1.15
無処理	66.7	2.1	1.13

[z]カルシウムをラノリンペーストにアミノ酸キレートの形態でCaOとして3.5%含有させた剤。

（木村ら，1993）

2）「新高」

①発生の様態

「新高」は我が国における日本ナシ生産量の約1割を占める主要な晩生品種であるが，九州等の西南暖地を中心に「豊水」のみつ症と同様な障害が発生し，問題となっている。本障害は，「水なし」，「煮え」，「焼け果」などと呼ばれていたが，近年は「豊水」と同じく「みつ症」という呼称が用いられることが多い。

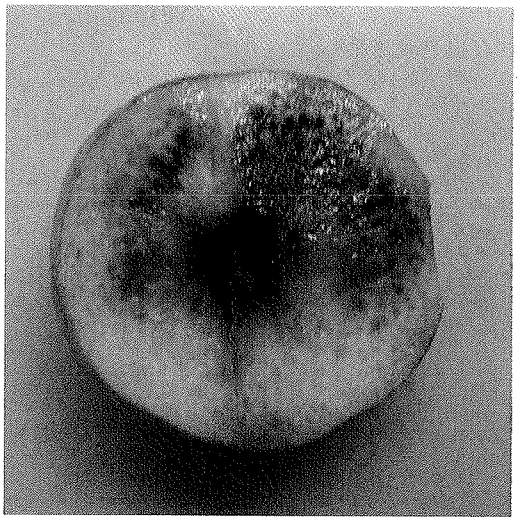
本障害は，収穫の1ヶ月前頃よりていあ部付近の果肉や果心部周辺に発生し，成熟の進行に伴い拡大する（木村ら，1993）。「豊水」とは異なり，夏季が高温少雨な場合に多発する（木村ら，1993；各務，2000）。特に8月上旬（満開120日後頃）以降の高温・土壌乾燥が発生を促進し（岡田ら，2005），この時期に適度な灌水や遮光を行うことにより発生を軽減できる（大分県農業技術センター，2002）。

②生育調節剤による発生制御

「新高」におけるみつ症の発生も「豊水」と同様にGA処理で促進され，カルシウム剤の果梗塗布や散布により抑制される（表－10）（木村ら，1993；各務，2000；大分県農業技術センター，2002）。ただし，カルシウム剤の抑制効果は，樹や年次によるふれが大きいことに加え，多発条件では十分な効果を得ることが難しいため，灌水等の栽培管理を徹底することが不可欠である（大分県農業技術センター，2002）。

4.　モモ

近年，モモでは，成熟の進んだ果実において，果肉の一部が水浸状となって褐変する障害の発生が増加しており，大きな問題となっている（写真－3）。発生部位が褐変した果実は「腐った果実」との誤解を与えかねず，商品性は皆無と言ってよい。本障害は，「あん入り果」，「煮え果」，「水浸状果肉褐変症」などとも呼ばれるが，発生初期には必ずしも褐変が見られないことに加え，維管束周辺から発生し周囲に広がること，樹上でのみ発生すること（齋藤ら，2002；藤丸ら，2005；坂下ら，2007），発生部位が褐変し，時には組織が崩壊し空隙を生じることなど日本ナシ「豊水」のみつ症と類似点多いことから，「みつ症」という呼称が適当と考えられる。



写真－3　モモ「あかつき」のみつ症

みつ症は，「川中島白桃」等の中晩生品種で発生しやすいとの報告が多い（山西，1998；東・岡田，2001；藤丸ら，2005）。しかしながら，早生種でも収穫が遅れると発生が認められるなど，日本ナシのみつ症ほど明確な品種間差異は認められない。中晩生品種は，比較的日持ち性が良好なため，熟度の進んだ果実を収穫する傾向にあることからみつ症が問題になりやすいものと考えられる。

みつ症は，大果で，果肉が軟らかく，糖度の高い果実，つまり熟度の進んだ果実で発生が多い傾向にあり，概ね果肉硬度2.0kg以下，糖度12度以上になると発生が急激に増加する（東・岡田，2001；齋藤ら，2002；安川・久木崎，2003；藤丸ら，2005；坂下ら，2007；岩谷ら，2007；久保田ら，2004；高田ら，2005）。

モモのみつ症も，日本ナシのみつ症と同様，成熟に伴い発生する果肉障害であることから，現在，エチレン生合成阻害剤等成熟を遅延させる薬剤やカルシウム剤を利用した発生制御の可能性について検討が進められている。

5. おわりに

リンゴのみつや日本ナシ，モモのみつ症は，多くの場合，果実の成熟に伴って発生することから，果肉の老化現象の一つとも考えられる。このため，成熟を促進するエテホンやGAは発生を促進し，エチレンやGAの生合成を阻害する薬剤は発生を抑制する。また，作用機構には不明な点が多いが，日本ナシでは，カルシウム剤にもみつ症発生を抑制する効果が認められている。しかしながら，いずれの樹種でも本症状の詳細な発生機構は解明されておらず，日本ナシ等比較的生育調節剤の効果に関する知見が蓄積している樹種であっても，経済性，作業性，新梢伸長等への影響などの面において解決すべき課題が多く，実用的かつ効果的な発生制御技術は確立されていない。

地球温暖化等に伴い，リンゴではみつ入りの低下，日本ナシの「新高」やモモではみつ症の発生増加等が危惧されており，これらの発生制御技術の開発は，今後，ますます重要な課題になってくるものと思われる。

引用文献

Batjer, L.P. and M.W. Williams. 1966. Effects of N-dimethyl amino succinamic acid (Alar) on watercore and harvest drop of apples. Proc. Amer. Soc. Hort. Sci. 88:76-79.

Bramlage, W.J. and A.H. Thompson. 1962. The effects of early-season sprays of boron on fruit set, color, finish, and storage life of apples. Proc. Amer. Soc. Hort. Sci. 80:64-72.

Bramlage, W.J. and A.H. Thompson. 1967. Loss of watercore and development of internal breakdown during storage of 'Delicious' apples, as determined by repeated light transmittance measurements of intact apples. Proc. Amer. Soc. Hort. Sci. 90:475-483.

Brown, D.S. 1943. Notes and observation from a study of water core in Illinois apples during the 1942 season. Proc. Amer. Soc. Hort. Sci. 42:267-269.

Clark, C.J., J.S. MacFall and R.L. Bieleski. 1998. Loss of watercore from 'Fuji' apple observed by magnetic resonance imaging. Scientia Horticulturae 73(4):213-227.

Couey, H.M. and M.W. Williams. 1973. Preharvest application of ethephon on scald and quality of stored 'Delicious'

apples. HortScience 8(1):56-57.

Drake, S.R., T.A. Eisele, M.A. Drake, D.C. Elfving, S.L. Drake and D.B.Visser. 2005. The influence of aminoethoxyvinylglycine and ethephon on objective and sensory quality of 'Delicious' apples and apple juice at harvest and after storage. HortScience 40(7):2102-2108.

福田博之. 1977. 'デリシャス' 果肉かっ変障害発生に対するカルシウムの影響. 果樹試報 C. 4:13-23.

福田博之. 1989. リンゴのミツ症状. 化学と生物 27(5):340-344.

福田博之・久保田貞三・巣山太郎. 1979. 透過光によるリンゴ果実のクロロフィル含有量, ミツ症及び果肉かっ変測定法確立に関する研究. 果樹試報 C. 6:27-54.

福田博之・工藤和典・樫村芳記・瀧下文孝・増田哲男・西山保直. 1985. リンゴの収穫前落果防止剤2,4-DPに関する二, 三の試験. 果樹試報 C. 12:53-60.

福元將志. 1992. ホウ素の葉面散布でミツ入り完熟を目指す. 現代農業 64(9):260-263.

福元將志・額田光彦・岩淵幸治・佐藤恭子. 1989. リンゴの果実品質に及ぼすホウ素およびカルシウム散布の影響. 園学雑. 58(別1):148-149.

Gao, Z.F., S. Jayanty, R. Beaudry and W. Loescher. 2005. Sorbitol transporter expression in apple sink tissues: Implications for fruit sugar accumulation and watercore development. J. Amer. Soc. Hort. Sci. 130(2):261-268.

Greene, D.W., W.J. Lord and W.J. Bramlage. 1977. Mid-summer applications of ethephon and daminozide on apples. 2. Effect on 'Delicious'. J. Amer. Soc. Hort. Sci. 102 (4):494-497.

Harker, F.R., C.B. Watkins and P.L. Brookfield. 1999. Maturity and regional influences on watercore development and its postharvest disappearance in 'Fuji' apples. J. Amer. Soc. Hort. Sci. 124(2):166-172.

東光明・岡田眞治. 2001. 中晩生モモの果肉褐変症に関する研究 第1報 果実形質と果肉褐変症との関係. 九州農業研究 63:228.

平原雄一. 2003. カルシウム資材散布による日本ナシ「豊水」のみつ症防止効果. 果実日本 58(1):61-63.

藤丸治・東光明・岡田眞治. 2005. 中晩生モモの「みつ症」の発生要因. 熊本県農業研究センター研究報告 13:93-99.

猪俣雄司・村瀬昭治・長柄 稔・篠川偲雄・及川悟・鈴木邦彦. 1993. ニホンナシ '豊水' のみつ症の発生条件の解明に関する研究. 園学雑. 62(2):257-266.

猪俣雄司・村瀬昭治・長柄 稔・篠川偲雄・鈴木邦彦. 1993. ニホンナシ '豊水' のみつ症の発生と膜の透過性との関係. 園学雑. 62(2): 267-275.

猪俣雄司・及川悟・八重垣英明・鈴木邦彦. 1996. ニホンナシ '豊水' のみつ症発生に及ぼすジベレリン及びジベレリン生合成阻害物質の影響. 果樹試報. 29:51-65.

猪俣雄司・八重垣英明・鈴木邦彦. 1999. ニホンナシ '豊水' のみつ症発生に及ぼす被袋, 炭酸カルシウム剤処理および果実－外気温の差の影響. 園学雑. 68(2):336-342.

岩谷章生・藤丸 治・岡田眞治・中満一晴. 2007. 晩生モモ「川中島白桃」における果肉異常軽減のための収穫時期の判定法. 平成18年度九州沖縄農業研究成果情報

各務裕史. 2000. ナシ‘新高’の果肉障害「煮え」,「みつ」,「すいり」－原因と対策を探る－. 果樹 54(5):10-12.

Kajiura, I., S. Yamaki, M. Omura and I. Shimura. 1976. Watercore in Japanese pear(*Pyrus serotina* Rehder var. ′Culta′ Rehder). 1. Description of the disprder and its relation to fruit maturity. Scientia Horticulturae 4: 261-270.

樫村芳記・工藤和典・金子勝芳・吉岡博人. 1992. 成熟期の気温がリンゴ‘ふじ’果実の品質ならびに貯蔵性に及ぼす影響. 園学雑. 61(別1): 102-103.

川瀬信三・関本美知. 1991. ニホンナシ豊水のみつ症の発生に及ぼすキレートカルシウム及びカルシウム拮抗剤の効果と深耕の影響. 園学雑. 60(別1):98-99.

川瀬信三・関本美知・長門壽男・石田時昭・一鍬田済. 1995. ニホンナシ‘豊水’のみつ症の発生と予測. 千葉農試研報. 36:67-75.

木村和彦・真鍋糺・渡辺勇. 1993. ニホンナシ‘新高’の生理障害に関する研究（第２報）水ナシ果発生に及ぼす気象条件と果実内カルシウム含量との関係. 高知農業技術センター研究報告 2:65-74.

木村伸人・岡田詔男・青木松信・河渕明夫. 1977. ニホンナシ「豊水」のエスレルによる熟期促進とカラーチャートによる収穫適期の判定. 愛知農総試研報 B. 9:112-118.

久保田尚浩・内倉康幸・高田大輔・福田文夫・笹邊幸男・藤井雄一郎. 2004. モモ果実の生理障害“あん入り症”の特徴. 園学雑. 73(別2): 130.

Lord, W.J. and R.A. Damon, Jr. 1966. Internal breakdown development in water-cored Delicious apples during storage. Proc. Amer. Soc. Hort. Sci. 88:94-97.

Lord, W.J. and F.W. Southwick. 1964. The susceptibility of two Delicious strains to some pre- and post-harvest physiological disorders. Proc. Amer. Soc. Hort. Sci. 84: 65-71.

前川哲男・輪田健二. 1992. 有袋栽培ナシ豊水のみつ症防止対策. 平成３年度研究成果情報（関東東海農業）

Marlow, G.C. and W.H.Loescher. 1985. Sorbitol metabolism, the climacteric, and watercore in apples. J. Amer. Soc. Hort. Sci. 110(5):676-680.

岡田眞治・大崎伸一・北村光康. 2005. ニホンナシ‘新高’のみつ症発生に及ぼす環境要因. 熊本県農業研究センター研究報告 13:83-92.

大分県農業技術センター. 2002. 日本ナシ「新高」のみつ症発生防止技術. 平成13年度九州沖縄農業研究成果情報

折本善之・佐久間文雄. 1993. ニホンナシ‘豊水’のみつ症発生園土壌の実態. 茨城県農業総合センター園芸研究所研究報告 1:23-43.

齋藤典義・古屋　栄・猪股雅人. 2002. モモ果実に発生した障害「みつ症」の特徴. 園学雑. (71別1):210.

坂下亨・山下泰生・福田哲生. 2007. モモ「なつおとめ」におけるみつ症発生の特徴. 平成18年度近畿中国四国農業研究成果情報

佐久間文雄・片桐澄雄・折本善之・多比良和生・梅谷隆・鈴木陽子・檜山博也・石塚由之. 1996. ニホンナシ‘豊水’のみつ症発生に及ぼす断根・施肥の影響. 茨城県農業総合センター園芸研究所研究報告 4:10-15.

佐久間文雄・片桐澄雄・多比良和生・梅谷隆・檜山博也. 1998. ニホンナシ‘豊水’のみつ症

発生に及ぼす摘葉・摘果強度の影響. 園学雑. 67(3):381-385.

佐久間文雄・梅谷隆・桧山博也. 1999. ニホンナシ‘豊水’の果実発育, 品質, みつ症発生に及ぼす1-アミノ・シクロプロパン・カルボン酸(ACC)の散布時期の影響. 茨城県農業総合センター園芸研究所研究報告 7:1-5.

佐久間文雄・梅谷隆・多比良和生・片桐澄雄・檜山博也. 1995. ニホンナシ‘豊水’のみつ症発生に及ぼす果実生長初期の高温とジベレリンの影響. 園学雑. 64(2):243-249.

Smagula, J.M. and W.J. Bramlage. 1977. Measurement of acetaldehyde in senescing apple fruits(watercore, fruit disorder). J. Amer. Soc. Hort. Sci. 102(3):318-320.

Smock, R.M. 1977. Nomenclature for internal storage disorders of apples. HortScience 12: 306-308.

高田大輔・内倉康幸・今井理夫・福田文夫・笹邊幸男・藤井雄一郎・大塚雅子・久保田尚浩. 2005. モモ果実における“水浸状果肉褐変症”の特徴. 園芸学研究 4(4):429-433.

田中敬一・猪俣雄司・川瀬信三・関本美知・永村幸平・川上千里. 1992. ニホンナシ(*Pyrus pyrifolia* Nakai var. culta Nakai)みつ症の発生機構とCa-EDTAによる防止効果. 園学雑. 61(1):183-190.

苫名 孝・山田 寿. 1988. 栽培地を異にしたリンゴ果実の品質と気温との関係. 園学雑. 56(4):391-397.

梅谷隆・佐久間文雄. 1993. 生育調節物質によるニホンナシ‘豊水’みつ症発生防止効果. 茨城県農業総合センター園芸研究所研究報告 1:11-22.

梅谷隆・佐久間文雄・桧山博也. 1999. ニホンナシ‘豊水’のエチレン発生とみつ症発生に及ぼす1-アミノ・シクロプロパン・カルボン酸(ACC)の影響. 茨城県農業総合センター園芸研究所研究報告 7:6-10.

牛島孝策・林 公彦・千々和浩幸. 2000. ニホンナシ‘豊水’のみつ症発生に及ぼすカルシウム混合剤葉面散布とジベレリン果梗塗布剤の影響. 九州農業研究 62:249.

Williams, M.W. 1966. Relationship of sugar and sorbitol to watercore in apples. Proc. Amer. Soc. Hort. Sci. 88:67-75.

Williams, M.W. and H.D. Billinsley. 1973. Watercore development in apple fruits as related to sorbitol levels in the tree sap and to minimum temperatures. J. Amer. Soc. Hort. Sci. 98(2):205-207.

Yamada, H., M. Kamio and S. Amano. 2005. Varietal differences in susceptibility to early or high temperature induced watercore in apples. J. Japan. Soc. Hort. Sci. 74(2):115-120.

Yamada, H. and S. Kobayashi. 1999. Relationship between watercore and maturity or sorbitol in apples affected by preharvest fruit temperature. Scientia Horticulturae 80(3-4):189-202.

Yamada, H., J. Minami, S. Amano and K. Kadoya. 2001. Development of early watercore in ′Orin′ apples (*Malus pumila*) grown in warmer regions and its physiology. J. Japan. Soc. Hort. Sci. 70(4):409-415.

Yamada, H., Y. Hasegawa and K. Mito. 1998. Watercore induced by preharvest high fruit temperature in watercore-resistant ′Tsugaru′ apples. Environment control in

biology 36(4):209-216.

Yamada, H., H. Ohmura, C. Arai and M. Terui. 1994. Effect of preharvest fruit temperature on ripening, sugars, and watercore occurrence in apples. J. Amer. Soc. Hort. Sci. 119(6):1208-1214.

山西久夫. 1998. モモの果実品質に及ぼす気象の影響. 果実日本 53(5):42-45.

山崎利彦. 1983. 豊水のミツ症状. 果実日本 38(2):34-35.

安川博之・久木崎孝弘. 2003. モモ果肉障害（みつ症）の発生要因と営農的防止対策. 平成14年度近畿中国四国農業研究成果情報

2007年版
〈最新〉除草剤・生育調節剤解説
企画・編集／（財）日本植物調節剤研究協会　B5判　203頁　本体5,000円（税別）
最近の水田除草剤25剤、畑地除草剤3剤を集め、最新情報に基づいて、特長、使い方、性質などを解説するほか、登録における試験の成績も紹介。使用基準についてもできるだけ、最新情報を収録。
全国農村教育協会
〒110-0016　東京都台東区台東1-26-6
Tel.03-3833-1821　Fax.03-3883-1665
（出版部直通Tel.03-3839-9160　Fax.03-3839-9172）
http://www.zennokyo.co.jp

鹿児島県における畑作雑草防除への雑考

鹿児島県農業開発総合センター　露重美義

はじめに

作物栽培において雑草発生はその量にもよるが，生育・収量のみならず品質も左右し，対策を怠ると影響が大きいことから，「農業は雑草との闘い」と言われる所以であろう。団塊世代の山村育ちは，小学校高学年になると年齢に応じて農作業手伝いが当然で，田車押しはまだしも，中腰での水田除草は腰が痛く，カンショ畑では取れども取れどもゴールが遠かった経験がある。

時を経て職務として雑草防除に携わる機会を得，主に畑作に関与してきたが，除草剤の開発・普及は「百人力」に等しく，省力・低コスト化，規模拡大への貢献は言うまでもない。

しかしながら，農産物輸入，担い手不足・高齢化，環境保全，食に対する安心・安全等々，農業を取り巻く環境も大きく変化した。最近の雑草防除について，私見を述べてみたい。

Ⅰ　生産基盤の変化

除草剤利用の実態は，概ね流通量から知ることができるが，耕地面積や農業者の年齢構成，品目栽培面積との関わりも大きい。

1)耕地面積の減少

耕地面積（表－1）はこの15年間で道路や宅地化等で15,700ha減少し，2005年総面積126,000haのうち水田は32%，普通畑は55%で畑作地帯に変わりはないが，果樹園・牧草地ともに減少している。唯一の増加は茶園で，山間部が廃園される中での約10%増加は，実質の新植が大きいことを示し，奄美地域の徳之島には新しい産地もできた。

2)農業専従者の減少と高齢化

表－2は販売農家の農業専従者数であるが，総数の激減と高齢化が一段と進み，特に65歳以上が55%で，担い手確保は言うまでもなく，大規模化や集落営農など一層の営農対策が緊急の課題である。

表－1　耕地面積の変遷　(ha)

年次	耕地計	田	普通畑	茶園	果樹園	牧草地	その他
1990年	141,700	46,400	76,700	7,550	7,260	3,050	740
1997	132,600	43,100	72,700	7,750	6,400	2,570	80
2005	126,000	40,400	68,800	8,380	4,484	2,440	1,496

「鹿児島農林水産統計年報」

表－2　販売農家の農業専従者数　　(男女計・人)

年 次	計	15～29歳	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上
1990年	90,551	2,150	8,498	11,906	29,776	17,207	21,014
1995	71,749	1,012	4,800	9,064	16,769	15,456	24,648
2000	63,767	862	3,009	7,835	10,277	11,449	30,335
2005	56,009	987	2,181	5,840	9,460	6,660	30,881

「鹿児島農林水産統計年報」

3)主要畑作物の変遷

表－3は飼料作物含む主要な土地利用型畑作物の栽培面積であるが，その増減は除草剤使用量にも大きく影響する。大別すると概ね普通作物と飼料作物が40％，野菜が20％弱で，その割合の変化は小さいが，作付面積はいずれも減少している。減少程度は普通作物が大きく，飼料作物は畜産県を反映して小さい。

表－3　主要畑作物の栽培面積　　(ha)

	品　目	1990年	1997	2005
普通作物	カンショ	19,800	14,200	12,600
	ソバ	2,300	1,640	932
	ダイズ	1,530	267	441
	ムギ	2,470	321	198
	リクトウ	1,050	215	60
	サトウキビ	12,400	8,720	9,550
	小　計	39,550	25,363	23,781
野菜	バレイショ	3,250	3,900	4,240
	ダイコン	3,160	2,400	1,700
	キャベツ	1,140	1,270	1,080
	サトイモ	1,950	1,810	943
	カボチャ	1,410	1,270	899
	ニンジン	730	769	554
	エンドウ	1,030	639	444
	スイカ	720	480	276
	小　計	13,390	12,538	10,136
合　計		52,940	37,901	33,917
飼料作物	ｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽ	12,250	13,240	12,806
	エンバク	5,140	3,720	3,098
	ﾛｰｽﾞｸﾞﾗｽ	1,560	3,070	4,214
	ﾄｳﾓﾛｺｼ	6,840	5,650	3,480
	ソルゴー	4,500	3,850	3,200
	小　計	30,290	29,530	26,798

「鹿児島農林水産統計年報」

品目別作付状況は，普通作物では主幹のカンショ・サトウキビが10,000ha程度で突出して多く，サトウキビは国の増産プロジェクト施策により減少から増加に転じ，カンショも芋焼酎の需要増により極最近は微増傾向にある。その他は激減し，中でも，陸稲・麦は顕著である。

野菜ではキャベツの変動が極めて小さく，ニンジンも比較的安定している。カボチャ・サトイモ・エンドウは，輸入の影響もあって減少しているものの普通作物ほどではなく，国内産志向の高まりに期待したい。特筆されるはバレイショが堅調に4,000haまで増加したことである。青果用は北海道産と長崎産の端境期を照準に，本県の温暖性を生かした県南奄美から県北までのリレー出荷体制が確立され，加工用も拡大の傾向にあり，今後も堅持されるものと考える。

飼料作物は肉用牛の飼養形態が多頭化し，粗飼料確保も作業性の高いグラス類の乾草やラップサイレージに移行したことから，夏草が除草剤使用頻度の高いトウモロコシ・ソルゴーに替わりローズグラスが急増している。冬草はイタリアンライグラスがほとんどで，横ばい状態にある。

Ⅱ ほ場管理と雑草発生

1) 耕種的防除の後退

雑草防除に関する農業者の意識実態を知るに，水稲作ではあるが興味深いアンケート調査結果を，神門達也氏（鹿児島県川薩農業改良普及センター）が九州雑草防除研究会発行のインフォレター「九州の雑草」第36号に報告している。

対象は県内有数の普通期水稲作地帯の20～60歳代112名を面接で調査したもので，実態に近い回答を得られたとされている。その抜粋であるが，水稲収穫後の年内耕耘は飼料作物等の作付農家だけで，“秋冬耕しない”が56％もある。畦塗りは“全くしない”，“ほとんどしない”合わせて60％で“ほとんどする”は僅か18％である。荒代に関しては“1回のみ”34％，“しない”15％もあり，植代後の均平度が“劣る”8％，“やや劣る”30％と，作業精度不足を認識しながらも作業効率を優先している。これらは若年層や大規模農家に多い傾向のようである。

このようなほ場管理の簡略化は畑作でも例外ではなく，輪作が減少し単作が増加する中で，収穫後のほ場管理を省くことによる，雑草の発生・種子の結実で，次年度の発生源が懸念されるほ場も散見する。また，排水とチガヤ等畦畔雑草のほ場侵入防止を兼ねた周辺溝も簡・省略化傾向も少なくない。

これらは，耕耘機など小型機械では後々の作業に支障があることから，初期に丁寧な対処であったのに比べ，機械の大型化で作業が容易なったことにも起因していると考えるが，雑草防除の観点からからは，一時的埋没で種子や塊茎を拡散する，大型機械普及の功罪と言える。

2) 発生雑草種の変化

8年間の普及現場を経て，平成14年再び研究機関の雑草防除に携わる部門に復帰したが，問い合わせに広葉雑草対策が増えたと感じている。従前から当地域の畑作で発生量が多く問題視される雑草は，メヒシバを主としたイネ科が一般的との認識しており，意外であった。

表－4－1は1975～84年の当県農試大隅支場（現：県農業開発総合センター大隅支場）における植調委託適用性Ⅱ試験の無除草区（播種・植付時期がほぼ同一期のカンショ，落花生，陸稲など）の代表的発生量であるが，いずれの年も半数以上はイネ科で，最も少ない年でも60％であり，10年間の平均では78％（メイシバ49％，オヒシバ29％）を占めていた。

最近の発生量を知るために同様の方法で1996～2006（2005欠）年を表－4－2に示した。総発生量は乾重・生重調査があり単純に比較はできないが，やや減少傾向がうかがわれる。イネ科・広葉別の10年間平均では，イネ科が62％で優占草には違いないが，全体に占める割合は低下している。また，試験ほ場が毎年異なることもあり年次間差が大きいものの，イネ科割合50％以下が3回，50％代も2回ある。さらに，耕起前処理試験における無除草区の発生量（表－4－3）は，5年平均ではイネ科と広葉類ほぼ同程度であり，広葉類の多い年次が増している。

これらは偶然性も否めないが，試験ほ場は一定の輪作体系ではないものの，同一品目の連作は避ける利用形態にあり，発現頻度からして広葉類は増加しているものと考える。

これら草種変化の要因は定かでは無いが，イネ科優占であるが故にイネ科抑草性の高い土壌処理剤や，イネ科選択性剤の使用を重ねたことによるものと考える。

他方現地の状況について，当県には市郡を単位とする比較的広い範囲の地域農政推進協議会を経て，試験研究に解決を望む課題を要請する

表－４－１　耕起後除草剤試験無除草区雑草発生

年次	g/m² (乾・生)	雑草発生量比率 (%)						
		ﾒﾋｼﾊﾞ	ｵﾋｼﾊﾞ	ｲﾈ科計	ﾋｺ類	ﾀﾃﾞ類	ｶﾔﾂﾘ	他広葉
1975	30.6 (乾)	43	36	79	0	0	8	13
76	93.7 (〃)	50	42	92	0	0	2	6
77	54.4 (〃)	61	7	68	11	1	2	18
78	233.6 (〃)	29	40	69	20	9	1	1
79	397.9 (〃)	86	4	90	3	6	t	1
80	196.9 (〃)	43	30	73	26	0	1	t
81	311.9 (〃)	49	31	80	19	0	t	1
82	260.3 (〃)	80	11	91	0	0	1	8
83	277.5 (〃)	39	21	60	31	0	0	9
84	93.0 (〃)	6	72	78	15	0	3	4
平均	185.0	49	29	78	12	2	2	6

「鹿児島農試大隅支場・適Ⅱ試験」

表－４－２　耕起後除草剤試験無除草区雑草発生

年次	g/m² (乾・生)	雑草発生量比率 (%)							
		ﾒﾋｼﾊﾞ	ｵﾋｼﾊﾞ	ｲﾈ科計	ﾋｺ類	ﾀﾃﾞ類	ﾂﾒｸｻ	ﾊｺﾍﾞ	他広葉
1996	75.1 (乾)	64	7	71	9	13	0	5	2
97	226.5 (〃)	36	10	46	9	33	0	8	4
98	220.3 (〃)	39	17	56	11	20	0	8	5
99	80.2 (〃)	57	24	81	4	11	0	0	4
2000	70.0 (〃)	52	22	74	13	0	0	8	5
01	8.8 (〃)	50	50	100	0	0	0	0	0
02	255.5 (生)	15	9	24	0	0	65	4	7
03	67.1 (〃)	53	11	64	0	6	15	0	15
04	451.5 (〃)	37	9	46	5	7	42	0	0
06	615.3 (〃)	35	20	55	5	0	21	6	13
平均		44	18	62	6	9	14	4	5

「鹿児島農試大隅支場・適Ⅱ試験」

表－４－３　耕起前除草剤試験無除草区雑草発生

年次	g/m² (乾・生)	雑草発生量比率 (%)						
		ﾒﾋｼﾊﾞ	ｵﾋｼﾊﾞ	ｲﾈ科計	ﾋｺ類	ﾀﾃﾞ類	ｶﾔﾂﾘ	他広葉
1997	30.6 (乾)	25	7	32	9	53	5	1
99	93.7 (〃)	26	8	34	11	45	7	3
2000	54.4 (〃)	30	10	40	16	34	7	3
04	233.6 (生)	97	t	97	0	0	0	3
05	397.9 (〃)	16	25	41	0	0	58	1
平均		39	10	49	7	27	15	2

「鹿児島農試大隅支場・適Ⅱ試験」

制度がある。その中の畑作雑草防除に関してカンショ畑のツユクサを主にした広葉雑草の除草技術開発が複数あったほか，干拓地におけるダイズ生育期のイネ科・広葉対策要請もある。また，専門技術員等からの情報によると，サトウキビ畑のアワユキセンダングサ・ノアサガオ(奄美地域)，飼料畑ではイチビ，ナズナ・オオツメクサ，ハリビユ，アカザ，シロザ等も増えており，カラクサナズナによる牛乳臭も発生している。なお，ツユクサ防除は品目問わず問い合わせが多い。これらはツユクサなど一部を除き問題視された事例は少なく，近年増加したものと思われる。

Ⅲ 除草剤利用の現状

1) 流通量の変遷

平成17農薬年度の本県除草剤総流通量(表－5)は，1,173 t(KL)で水稲用が約50％である。畑作用には，非農耕地での利用が大と推定される剤も耕起前や畦間・畦畔登録剤はカウントしているので，実際の使用量は少なくなるが47％もある。

剤型は水稲用が粒・水和剤が圧倒的であるのに比べ，畑作用では乳・液・フロアブル剤が60％で，芝・樹木は80％を占める。これらは粒剤と水和剤を区分していないため正確ではないが，水稲は粒剤，畑作や芝・樹木などは散布労力は要するものの，除草効果の安定する希釈剤が選択されているものと思われる。

主な除草剤の流通量を表－6に示した。土壌処理剤はブタミホス，ペンディメタリン，ＤＣＭＵ，メトリブジン剤等流通量が増えた薬剤もあるが，全体的には1990年度に270 t(KL)あったが，2006年度は151 t(KL)で大きく減少している。主因は作物の栽培面積減にあるが，それを上回る減少で，除草剤の効率的利用や安心安全志向への配慮が進んだものと考える。

個別の商品流通変遷を見ると，土壌処理剤では1990年にはトリフルラリン，ＣＡＴ剤に特化していたが近年減少が著しい。原因は作物栽培面積減のほかトリフルラリンは対象作物が競合する後発のブタミホスやペンディメタリン剤に移行しつつあり，ＣＡＴはサトウキビでの使用規制も大きい。また，ブロマシル並びにプロメトリン・メトラクロールも激減しているが，主に使用されていた果樹園並びにダイス・ラッカセイの栽培減によるものと思われる。

茎葉処理剤は，1990及び98年調査の一部非選択性薬剤を少なめにカウントしており，正確性に欠けるが，1990年においては土壌処理剤よりやや多い程度であった。しかしながら1998年には大幅に増加し，2006年には減少しているも

表－5 除草剤の流通量 (H 17 農薬年度：kg,L)

	水稲用	畑作用	芝・樹木用	その他	計
粒・水和剤	562,444	216,237	5,367	2,575	786,623
乳・液・ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	29,135	337,653	19,778	72	386,638
計	591,579	553,890	25,145	2,647	1,173,261

「鹿児島県農政部資料より作成」

表－6　主な畑作除草剤の流通量　(kg・L)

	除草剤名	1990年	1998	2006
土壌処理剤	ﾄﾘﾌﾙﾗﾘﾝ	142,100	112,906	61,241
	ﾌﾞﾀﾐﾎｽ		22,746	40,505
	ﾍﾟﾝﾃﾞｨﾒﾀﾘﾝ		7,257	15,391
	CAT	99,000	46,868	11,685
	DCMU	3,900	4,419	8,075
	ﾒﾄﾘﾌﾞｼﾞﾝ		3,762	6,866
	ｱﾄﾗｼﾞﾝ・ﾒﾄﾗｸﾛｰﾙ	5,000	4,304	2,942
	ｱﾗｸﾛｰﾙ	5,400	2,331	1,030
	ﾌﾞﾛﾏｼﾙ		8,387	824
	ﾌﾟﾛﾒﾄﾘﾝ・ﾒﾄﾗｸﾛｰﾙ	15,100	8,403	1
	ﾒﾄﾗｸﾛｰﾙ			1,268
	ﾌﾟﾛﾒﾄﾘﾝ・ﾍﾟﾝﾁｵｶｰﾌﾞ			1,223
	小　計	270,500	221,383	151,051
茎葉処理剤	ｾﾄｷｼｼﾞﾑ	2,800	4,796	7,812
	ｱｼｭﾗﾑ		2,889	17,624
	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄ系	44,200	121,699	170,055
	ｼﾞｸﾜｯﾄﾊﾟﾗｺｰﾄ	222,600	299,003	114,398
	ｸﾞﾙﾎｼﾈｰﾄ	11,000	27,158	22,553
	2,4PA	5,100	6,286	13,690
	DBN	10,300	6,755	3,365
	小　計	296,000	468,586	349,497
合　計		566,500	689,969	500,548
参考	塩素酸塩系		12,055	37,371
	ｲｿｳﾛﾝ・DBN・DCMU		5,251	7,922
	ﾃﾄﾗﾋﾟｵﾝ		2,685	4,819
	ﾄﾘｸﾛﾋﾟﾙ		7,770	1,418

「鹿児島県農政部資料より作成」

のの1990年より多い流通量である。また，農耕地での使用が多いと思われるセトキシジム，アシュラム，2.4PA剤も増加しており，土壌処理剤とは傾向が異なる。このことは除草剤利用において使用者の理解浸透と耕作放棄や非農耕地での利用が増えたものと考える。

2)　除草剤への認識は向上

除草剤が一般的に使用されるようになって久しく，栽培面積に伴う流通量の増減や，使用場面に応じた薬剤並びに剤型選択に見られるように，除草剤の利用は定着してきた。先述した神門氏の水稲農家アンケートでも，63％が省力的，74％が使い易いと回答し，少々の残草は減収がなければ「可」，と評価は高い。

最近雑草防除への認識が，際だって向上したと思われる品目に，奄美のサトウキビがある。鹿児島県のサトウキビ栽培は種子島と奄美諸島で，種子島は経済栽培の北限地であり，早くから雑草防除含む管理作業が重要視されてきたが，奄美では地域差・個人差はあるものの十分とは言えなかった。近年国の増産施策もあり，原料確保と生産性向上を図ろうと，製糖会社や関係機関が連携してた取り組んだ成果が，他の島々にも波及しつつある。このことは，サトウキビのみに使用されるＤＣＭＵ，メトリブジン剤と，茎葉処理剤として重宝されているアシュラム，2.4ＰＡ剤の流通量増からもうなずける。

除草剤の利用は農業外にも波及し，これまで刈り払いで対応されてきた，団地内の空き地や集落内の道路でも目にするようになり，効果・省力性が認識されてきたのは確かである。

3)　除草剤使用における理解度は千差万別

前述したように除草剤は広範に利用され，草種・効果による商品選択や天候などを加味した剤型の使い分けなど，大半は理解度も高まっている。しかしながら，畑作では水稲に比べ，知識・情報不足や不注意によるトラブルも少なくない。

水稲は対象作物が単一で長年の経験もあり，例え使用法にミスがあっても除草効果が低下する程度で大きな薬害は少ない。

畑作は品目も多く，登録の有無，同一薬剤でも処理時の条件で効果の変動，畦間や耕起前には非選択性剤があるなど，水稲感覚での使用は禁物である。除草効果の不安定はまだしも，畦畔に散布した非選択性剤の飛散による薬害，ホルモン剤による隣接畑の葉菜類・カンショへの障害，極最近でも畦間剤の理解不足から全面散布した例など，知識修得の必要な階層も多い。

Ⅳ 今後の展望・課題

1) 大規模化で除草剤は不可欠

農家戸数は減少の一途にあるが，野菜を中心とした畑作や肉用牛の法人経営・大規模経営をはじめ，一戸当たり経営面積は拡大し，この傾向は今後も進展するものと思われる。大規模でも特別栽培や無農薬栽培を目指す経営体もあるが，大半は経営面積の拡大に伴い労力不足も相まって，ほ場管理の簡略化や収穫跡地の放置なども少なくない。ここで生長・結実した雑草種子や塊茎がほ場全体に拡散したと思われる例も多く，農業機械に付着して他圃場への伝播も懸念される。集落営農や高齢化等による個人間の受委託作業も増えるであろうから，円滑な作業システム確立からも個々の雑草防除は重要であり，除草剤の役割は大きい。また，法人等の大規模化は経営並びに雇用の安定確保に品目組合せと輪作は重要で，除草剤利用の煩雑化が予想され，薬剤使用法の熟知が求められる。

2) 難度の高い要求へ

除草剤の普及により除草作業の省力化は著しく，経営への貢献度は大きい。しかしながら，除草剤と言えども対応できない草種や場面もあり，作物栽培中となるとなおさらである。かつてツユクサやハマスゲなど，防除が容易でない雑草は経験から初発時に対処し，問題となることは極めて少なかった。近年は先述したように防除の難易問わず，圃場管理の簡略化や農業機械により拡散され増殖したものと思われる草種や，天候不良・作業競合などで初中期に対処できずに生長した雑草の対策要望もある。これらは「先ずは自己対策を」であり，雑草ならびに除草剤の特性把握が欲しいところであるが，これも意識変化の一つであり，類する要望が予想される。

3) 今後望まれるであろう牧草畑対策

本県の肉用牛飼養は，戸数は減少しているが一戸当たりは多頭化にあり，粗飼料確保が大きな課題で，より効率生産が求められる。

小規模では日々の青刈りと稲わらで間に合うが，頭数増につれ乾草またはサイレージの貯蔵粗飼料割合を高めるが必要があり，大規模では貯蔵中心でないと家畜の飼養管理にも影響する。

粗飼料確保の実態は，主として夏草はトウモロコシ・ソルガム・ローズグラス，冬草はイタリアンライグラスとエンバクである。この中で個別の登録除草剤はトウモロコシとソルガムのみで，そのほかは牧草の登録剤を使用するにも数が極めて少なく，薬害に対する安全性が不明確である。特にローズグラスは今後も増加すると思われるが，発芽・初期生育時にメヒシバを主とした夏雑草との競合著しく，粗飼料確保を左右しかねない。また，Ⅱ－2）発生雑草種の変化で述べたとおり，広葉雑草の増加や牛乳臭発生例もあることから，早急な対応が必要であると考える。

4) より適正使用と安全性の啓発

農薬の適正使用はあらゆる場面で啓発され，容器ラベルにも記載があり，あえて述べる必要もないが，先述したとおり「認識は高まっているが理解度は？」である。ポジティブリスト違反事例も主に殺虫剤であるが，飛散や散布器具の洗浄不足，適用外使用の不注意や知識・情報不足に起因しているもので，除草剤においても起こり得ることである。

防止策は使用する農業者自らの知識修得にあるが，農業技術者も病害虫や雑草防除に携わる者のみならず，栽培技術指導に関わる全てが資質を高め，さらなる啓発・普及に努める必要がある。

また，環境保全や食品への安心・安全の関心

は高まるばかりで，ややもすると農薬は暗に“危険・悪”意識が伝わってくる。農業者も仕方なく使用しているのであって，その場合でも農薬取締法に基づき，環境や安全性に配慮している現状を，農業分野以外の理解に向けて発信すべきである。そのためには極々一部であってもポジティブリスト違反一掃は必須で，適正使用に業界と生産現場の連携が極めて重要である。

選べる3剤型!!早めにつかって長く効く!

安心がプラス!
アゼナ、ホタルイ等への効果をプラス。

水稲用一発処理除草剤

TREDY
トレディシリーズのトレードマーク

トレディプラス®顆粒

トレディプラス®ジャンボ®

トレディプラス®1キロ粒剤

ノビエに長く効く MY-100 含有

トレフィちゃん

JAグループ
農協 全農 経済連
全農は登録商標 第1902445号

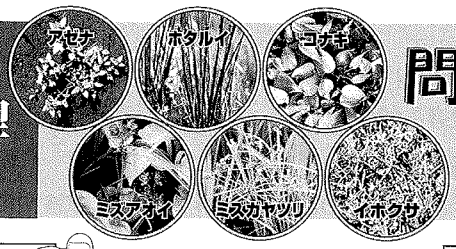
日産化学工業株式会社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1(興和一橋ビル)
TEL 03(3296)8141 http://www.nissan-nouyaku.net/

新刊 シダ植物
村田威夫・谷城勝弘／著
A5判　136頁
定価：1,905円+税

「シダ」という植物は、わかりにくく難しいと思われがちですが、「くらし」と「かたち」を通して植物としての特徴をよく理解することによって、身近なものになってきます。本書はシダの形態、生態からシダの調べ方、身近なシダ90種の図鑑部を含む最適の入門書です。

全国農村教育協会　〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6 TEL03-3839-9160 FAX03-3839-9172　ホームページhttp://www.zennokyo.co.jp　Eメール：hon@zennokyo.co.jp

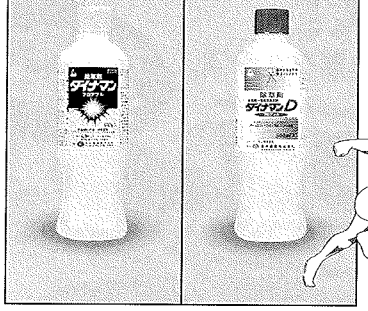
省力タイプの
高性能一発処理
除草剤シリーズ



問題雑草を
一掃!!

水稲用初・中期一発処理除草剤
ダイナマン
1キロ粒剤75
D1キロ粒剤51

水稲用初・中期一発処理除草剤
ダイナマン
フロアブル
ダイナマン.フロアブル
ダイナマン.Lフロアブル
Dフロアブル



水稲用初・中期一発処理除草剤
ダイナマン
ジャンボ

投げ込み用 水稲用一発処理除草剤
マサカリ
ジャンボ
マサカリ.Aジャンボ
マサカリ.Lジャンボ

日本農薬株式会社
東京都中央区日本橋1丁目2番5号
ホームページアドレス http://www.nichino.co.jp/

●使用前にはラベルをよく読んでください。
●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
＊空容器は圃場に放置せず、
環境に影響のないように適切に処理してください。

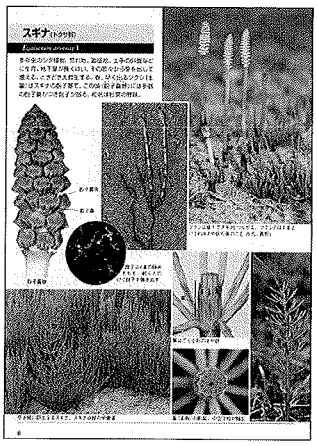
新刊

見分ける、身近な280種

形とくらしの雑草図鑑

岩瀬徹／著　A5判　224ページ　定価2,520円（税込）

「わかりやすさ」を第一に考えました。文字による解説をできるだけ少なくし、写真をできるだけ多く使って、目から理解できる…特にビギナーのかたにおすすめの雑草図鑑です。
「科」の解説も画期的です。科の特徴もまた、言葉ではなく写真で表現しています。科というグループを理解することで、雑草の見分けがいっそう楽になります。



【収録種】
トクサ科3種、クワ科2種、タデ科14種、ベンケイソウ科2種、ナデシコ科9種、スベリヒユ科1種、ヤマゴボウ科1種、アカザ科5種、ヒユ科7種、アブラナ科16種、ケシ科2種、ドクダミ科1種、バラ科2種、マメ科20種、フウロソウ科1種、ブドウ科1種、トウダイグサ科6種、カタバミ科5種、アカバナ科6種、ウリ科2種、セリ科4種、アカネ科5種、サクラソウ科2種、ガガイモ科1種、ヒルガオ科7種、シソ科4種、ゴマノハグサ科7種、ナス科3種、オオバコ科4種、ムラサキ科2種、キツネノマゴ科1種、オミナエシ科1種、キキョウ科2種、キク科63種、ユリ科2種、ヒガンバナ科1種、アヤメ科3種、ツユクサ科3種、イグサ科2種、イネ科48種、カヤツリグサ科4種、ラン科1種／計276種

全国農村教育協会　〒110-0016　東京都台東区台東1-27-11
TEL03-3839-9160　FAX03-3839-9172　http://www.zennokyo.co.jp

平成１９年度水稲作関係除草剤試験成績概要

財団法人　日本植物調節剤研究協会

平成１９年度水稲作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成１９年１２月６日、７日の２日間、東京ガーデンパレスにおいて、適１試験成績検討会は、これに先立ち平成１９年１０月１６日　東京ガーデンパレスにて開催された。ここに、これら検討会における判定結果を報告する。

１）第一次適用性試験（適１）は、北海道地域（植調北海道試験地）、東北地域（植調古川試験地）、北陸地域（植調新潟試験地）、関東地域（植調研究所）、近畿・中国・四国地域（植調滋賀試験地）、九州地域（植調福岡試験地）の全国６地域および砂壌土（植調霞ヶ浦試験地）で３４薬剤（のべ２０１点）について実施した。その判定結果は、第２表のとおりである。

２）第二次適用性試験(適２）は、のべ４５５剤(総点数２，４３６点)であり、その内訳を第１表にまとめた。これら適２試験の判定結果は第３表のとおりであり、「実・継」と判定された薬剤の使用基準を後に掲載した。

第1表　平成19年度適2試験実施点数

A-1 移植栽培(一発処理)	152 剤 1,396 点	A-4 特殊雑草対象　内訳	
A-2 移植栽培(体系処理:初期)	19 剤 111 点	アゼガヤ	1剤 1点
A-3 移植栽培(体系処理:中後期)	20 剤 272 点	イボクサ	1剤 1点
A-4 移植栽培(特殊雑草対象)	のべ 214 剤 507 点	エゾノサヤヌカグサ	12 剤 12 点
B　直播栽培	45 剤 128 点	オモダカ	60 剤 200 点
C　畦畔雑草	2 剤 11 点	クサネム	1 剤 2 点
D　耕起前	1 剤 3 点	クログワイ	57 剤 174 点
E　休耕田	2 剤 8 点	コウキヤガラ	35 剤 67 点
		シズイ	20 剤 20 点
		ミズアオイ	15 剤 15 点
		SU 抵抗性コナギ	2 剤 2 点
		SU 抵抗性ホタルイ	10 剤 13 点

第3表 平成19年度 水稲関係除草剤適2試験判定結果一覧

区 分	実・継		継	
A-1 一発処理	AC-014A-1kg 粒	BCH-031-1kg 粒	HOK-0601-1kg 粒	HOK-0701S ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	BCH-032-1kg 粒	BCH-033-1kg 粒	KPP-398 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	KPP-398(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	BCH-044-1kg 粒	BCH-045H-1kg 粒	KPP-446H ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KPP-446L ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	BCH-045L-1kg 粒	BCH-051 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-021-0.25kg 粒	KUH-074-1kg 粒
	BCH-051 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	BCH-052 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NC-617SB-1kg 粒	NC-618-1kg 粒
	BCH-053 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	BCH-062 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NC-621 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NC-621 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	BCH-063 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BCH-064 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NH-051(H) ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NH-071D ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	BCH-064 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	BCH-064-1kg 粒	NH-071D ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NH-071D-1kg 粒
	BCH-065L ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	DKH-311-1kg 粒	SB-572 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SB-572 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	FSS-115 粒	HOK-0301 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SB-582 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SB-582-1kg 粒
	HOK-0301-1kg 粒	HOK-0401 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SL-0701-1kg 粒	SL-4902-1kg 粒
	HOK-0401-1kg 粒	HOK-0401(L) ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SW-071(H) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	TH-501 ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	HOK-0401(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-0401(L)-1kg 粒	TH-501 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	TH-501-1kg 粒
	HOK-0501-1kg 粒	HOK-0605 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	TH-601 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	TH-601-1kg 粒
	HOK-0605 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-0605-1kg 粒		
	HOK-0605(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-0605(L)-1kg 粒		
	HOK-0605S-1kg 粒	HOK-0611-1kg 粒		
	HOK-201D-1kg 粒	HOK-201DS-1kg 粒		
	HOK-222 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-222-1kg 粒		
	HOK-223 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	HOK-223 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	HOK-223-1kg 粒	HSW-051-1kg 粒		
	HSW-052 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	KPP-444-1kg 粒		
	KPP-445 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	KPP-445Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	KUH-004D-1kg 粒	KUH-013D-0.25kg 粒		
	KUH-013D-1kg 粒	KUH-013K-1kg 粒		
	KUH-023D ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-023D ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	KUH-032 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-041-1kg 粒		
	MY-100DC ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	MY-100DC-1kg 粒		
	MY-100NC-1kg 粒	MY-100NDC-1kg 粒		
	MY-100TS ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NBA-101SB ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	NBA-941S-1kg 粒	NC-385 顆粒水和		
	NC-385SB 顆粒水和	NC-385SB-1kg 粒		
	NC-604 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NC-604-1kg 粒		
	NC-606 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NC-607 ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	NC-607 顆粒水和	NC-607-1kg 粒		
	NC-609-1kg 粒	NC-621-1kg 粒		
	NH-051(H) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NH-051(H)-1kg 粒		
	NH-061-1kg (旧KUH-061-1kg) 粒	NH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	NH-104-1kg 粒	NH-301-1kg 粒		
	NH-302 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SB-556 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		

区　分	実・継		継	
A-1 一発処理 つづき	SB-556-1kg 粒	SB-563Ⓛ-1kg 粒		
	SB-564 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SB-564 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	SB-564-1kg 粒	SB-570 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	SB-570-1kg 粒	SL-0601 ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	SL-0601-1kg 粒	SL-0602-1kg 粒		
	SL-498-1kg 粒	SST-402-1kg 粒		
	SST-403 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SST-404 ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	SST-404 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SST-404-1kg 粒		
	SW-005Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SW-032 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	SW-032Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SW-041Ⓗ -1kg 粒		
	SW-041Ⓛ-1kg 粒	SW-042Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	SW-043-1kg 粒	SW-052 ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	SW-061-1kg 粒	SW-062 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	SW-991-1kg 粒	SYJ-108 ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	SYJ-150 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SYJ-156-1kg 粒		
	SYJ-157-1kg 粒	SYJ-167-1kg 粒		
	TH-001-1kg 粒	TH-122-1kg 粒		
	TH-224 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	TH-421 ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	TH-547(Z) ｼﾞｬﾝﾎﾞ	TH-547(Z) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	TH-547(Z)-1kg 粒	THI-913CS ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	YH-652 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NOJ-103-1kg 粒		
	SB-526 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SB-559(L)-1kg 粒		
A-2 体系(初期)	AKD-7138 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	AKD-7155 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NC-619 EW	SL-4901-1kg 粒
	CGM-71 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	KH-183(L)-1kg 粒		
	KPP-2012 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	KUH-958 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	MY-100MS ﾌﾛｱﾌﾞﾙ (少量散布)	NSK-863 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ (少量散布)		
	SB-528 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SB-528(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	SB-529-1kg 粒	YH-650 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	YH-650-1kg 粒	YH-651 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	YH-651-1kg 粒	ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ-1kg 粒		
	ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ 乳			
A-3 体系(中後期)	DASH-001 SC	DBH-1294-1kg 粒	HOK-0721 粒	
	DEH-112 乳(EW)	DEH-112-1kg 粒		
	KUH-073-1kg 粒	KUH-983-0.25kg 粒		
	NC-612-1kg 粒	SB-551-1kg 粒		
	SL-0401 ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SL-0401 顆粒水和		
	SL-0401-1kg 粒	SL-0401-1kg (1.5kg/10a処理) 粒		
	SL-0601-1kg 粒	SL-0604-1kg 粒		
	SL-0611 顆粒水和	SL-0613 顆粒水和		
	SW-051-1kg 粒	SW-063-1kg 粒		
A-4 アゼガヤ	DEH-112 乳(EW)			
A-4 イボクサ	BAG-032 ｼﾞｬﾝﾎﾞ			

区　分	実・継		継	
A-4 エゾノサヤヌカグサ	DKH-311-1kg 粒	KPP-444-1kg 粒	BCH-031-1kg 粒	BCH-032-1kg 粒
	NH-051(H) フロアブル	NH-051(H)-1kg 粒	BCH-033-1kg 粒	BCH-052 フロアブル
	NH-403 フロアブル	SW-032 フロアブル	BCH-053 フロアブル	KPP-445 フロアブル
A-4 オモダカ	BCH-031-1kg 粒	BCH-032-1kg 粒	BCH-045H-1kg 粒	BCH-052 フロアブル
	BCH-033-1kg 粒	BCH-044-1kg 粒	BCH-053 フロアブル	HOK-0301-1kg 粒
	BCH-045L-1kg 粒	CGM-71 フロアブル	HSW-051-1kg 粒	HSW-052 フロアブル
	DKH-311-1kg 粒	HOK-222 フロアブル	KPP-2012 フロアブル	KUH-985(L) フロアブル
	HOK-222-1kg 粒	KPP-445Ⓛ フロアブル	MY-100MS フロアブル	NH-061-1kg (旧KUH-061-1kg) 粒
	KUH-013D-1kg 粒	KUH-021-1kg 粒	SB-556 フロアブル	SB-564 ジャンボ
	KUH-041-1kg 粒	MY-100DC(L) フロアブル	SL-498-1kg 粒	SW-063-1kg 粒
	MY-100DC(L)-1kg 粒	NC-606-1kg 粒	SYJ-157-1kg 粒	TH-547(Z) ジャンボ
	NC-607-1kg 粒	NH-051(H) フロアブル	TH-547(Z) フロアブル	TH-547(Z)-1kg 粒
	NH-051(H)-1kg 粒	NH-403 フロアブル		
	NHF-401 粒	NOJ-101-1kg 粒		
	SB-563Ⓛ-1kg 粒	SL-0602-1kg 粒		
	SL-0604-1kg 粒	SL-0613 顆粒水和		
	SL-496Ⓛ 粒	SST-404 フロアブル		
	SST-404-1kg 粒	SW-005Ⓛ フロアブル		
	SW-032 フロアブル	SW-042Ⓛ ジャンボ		
	SW-051-1kg 粒	SW-751 粒		
	SYJ-108 ジャンボ	SYJ-150 フロアブル		
	SYJ-156-1kg 粒	TH-224 フロアブル		
	YH-650 フロアブル	YH-650-1kg 粒		
	YH-651 フロアブル	YH-651-1kg 粒		
A-4 クサネム			NC-612-1kg 粒	
A-4 クログワイ	BCH-031-1kg 粒	BCH-032-1kg 粒	BCH-045H-1kg 粒	BCH-052 フロアブル
	BCH-033-1kg 粒	BCH-044-1kg 粒	BCH-053 フロアブル	KPP-2012 フロアブル
	BCH-045L-1kg 粒	DKH-311-1kg 粒	KUH-031 粒	NH-061-1kg (旧KUH-061-1kg) 粒
	G-315B 乳	HOK-0301 フロアブル	SB-528 フロアブル	SB-564 ジャンボ
	KUH-013D-1kg 粒	KUH-021-1kg 粒	SW-063-1kg 粒	SYJ-157-1kg 粒
	KUH-041-1kg 粒	MAT-159 ジャンボ	TH-547(Z) ジャンボ	TH-547(Z) フロアブル
	NC-604 フロアブル	NC-606-1kg 粒	TH-547(Z)-1kg 粒	
	NC-607-1kg 粒	NH-051(H) フロアブル		
	NH-051(H)-1kg 粒	NH-403 フロアブル		
	NOJ-101-1kg 粒	NOJ-104-1kg 粒		
	SB-554 ジャンボ	SB-563Ⓛ-1kg 粒		
	SB-564 フロアブル	SB-564-1kg 粒		
	SL-0401-1kg 粒	SL-0401-1kg (1.5kg/10a処理) 粒		
	SL-0601-1kg 粒	SL-0602-1kg 粒		

区　分	実・継		継	
A-4 クログワイ つづき	SL-0604-1kg 粒	SL-0611 顆粒水和		
	SL-0613 顆粒水和	SST-402-1kg 粒		
	SST-403 フロアブル	SST-403-1kg 粒		
	SST-404 フロアブル	SST-404-1kg 粒		
	SW-005Ⓛ フロアブル	SW-032 フロアブル		
	SW-042Ⓛ ジャンボ	SW-051-1kg 粒		
	SYJ-108 ジャンボ	SYJ-150 フロアブル		
	SYJ-156-1kg 粒	TH-224 フロアブル		
A-4 コウキヤガラ	KPP-2005 ジャンボ	KPP-2005(H) フロアブル (少量散布)	G-315B 乳	KPP-445Ⓛ フロアブル
	KPP-2008 乳(EW)	KPP-2008-1kg 粒	SST-402-1kg 粒	SST-403 フロアブル
	KPP-444Ⓛ-1kg 粒	KPP-444-1kg 粒	SST-403-1kg 粒	TH-001 ジャンボ
	KUH-013D-1kg 粒	KUH-021-1kg 粒	TH-547(Z) ジャンボ	TH-547(Z) フロアブル
	KUH-041-1kg 粒	NC-612-1kg 粒	TH-547(Z)-1kg 粒	
	SB-554 ジャンボ	SB-554 フロアブル		
	SL-0401-1kg 粒	SL-0401-1kg (1.5kg/10a処理) 粒		
	SL-0601-1kg 粒	SL-0602-1kg 粒		
	SL-0604-1kg 粒	SL-0611 顆粒水和		
	SL-0613 顆粒水和	SST-404 フロアブル		
	SST-404-1kg 粒	TH-122-1kg 粒		
	TH-224 フロアブル	TH-421 ジャンボ		
	YH-651 フロアブル	YH-651-1kg 粒		
A-4 シズイ	DKH-311-1kg 粒	HOK-222 フロアブル	BCH-045H-1kg 粒	DASH-001 SC
	NH-051(H) フロアブル	NH-403 フロアブル	NC-604-1kg 粒	NH-051(H)-1kg 粒
	SW-005 フロアブル	SW-041Ⓗ -1kg 粒	SL-0401-1kg 粒	SL-0401-1kg (1.5kg/10a処理) 粒
	SYJ-150 フロアブル	TH-224 フロアブル	SST-404 フロアブル	SW-032 フロアブル
			SYJ-156-1kg 粒	TH-122-1kg 粒
			TH-421 ジャンボ	TH-547(Z) フロアブル
A-4 ミズアオイ	DKH-311-1kg 粒	KPP-445 フロアブル	BCH-032-1kg 粒	BCH-033-1kg 粒
	NC-385SB 顆粒水和	NC-385SB-1kg 粒	BCH-052 フロアブル	BCH-053 フロアブル
	SST-404-1kg 粒		HSW-051-1kg 粒	HSW-052 フロアブル
			SW-032 フロアブル	TH-547(Z) ジャンボ
			TH-547(Z) フロアブル	TH-547(Z)-1kg 粒
A-4 SU抵抗性コナギ	SST-404-1kg 粒		SL-0601-1kg 粒	
A-4 SU抵抗性ホタルイ	BCH-044-1kg 粒	DKH-311-1kg 粒	BCH-032-1kg 粒	BCH-033-1kg 粒
	NC-385SB-1kg 粒	SST-404-1kg 粒	BCH-052 フロアブル	BCH-053 フロアブル
			HSW-051-1kg 粒	HSW-052 フロアブル
B 直播栽培	BCH-044-1kg 粒	BCH-045L-1kg 粒	BCH-045H-1kg 粒	DEH-112 ジャンボ
	DASH-001 SC	DKH-311-1kg 粒	HOK-222-1kg 粒	HOK-223 フロアブル
	HOK-221 ジャンボ	HOK-222 フロアブル	KUH-021-1kg 粒	NH-051(H) フロアブル
	HOK-223-1kg 粒	HOK-225-1kg 粒	NH-051(H)-1kg 粒	NH-301-1kg 粒
	KUH-013D ジャンボ	KUH-031 粒	NH-302 フロアブル	SB-528(L) フロアブル

区　分	実・継		継	
B 直播栽培 つづき	KUH-911 液	NBA-941S-1kg 粒	SL-0611 顆粒水和	SL-0612 顆粒水和
	NC-331 水和	NC-385SB-1kg 粒	SW-043-1kg 粒	
	NH-104-1kg 粒	PSS(L)D-1kg 粒		
	SB-528 フロアブル	SB-563Ⓛ-1kg 粒		
	SL-0401-1kg 粒	SL-0401-1kg (1.5kg/10a処理) 粒		
	SST-402-1kg 粒	SW-005Ⓛ フロアブル		
	SW-032 フロアブル	SW-041Ⓗ -1kg 粒		
	SW-042Ⓛ ジャンボ	SW-991-1kg 粒		
	TH-001 ジャンボ	TH-001 フロアブル		
	TH-001-1kg 粒	TH-122-1kg 粒		
	TH-224 フロアブル	TH-421 ジャンボ		
C 畦畔	NC-622 液	ZK-122 液		
D 耕起前	ZK-122 液			
E 休耕田	NC-622 液	ZK-122 液		

注):1)本年度新規に使用基準が作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。
2)本年度は「実」,「継？」及び「中止」と判定された薬剤はなかった。
※　薬剤名はアルファベット順に記載した。

平成19年度　水稲関係除草剤使用基準一覧表

A　移植栽培

A-1　一発処理

A-1
AC-014A-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○2	○2		○2		○前※	○発生期		○前	ミズアオイ:1L	+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○2		○2	○2	○前※	○前※	○発生期		○前					○
北陸	○1.5	○	○2		○2	○2		○前※			○前					○
関東・東海	○1.5	○	○2		○2	○2	○前※	○前※	○発生期		○前	SU抵抗性コナギ:始			○	○
近・中・四	○1.5	○	○2		○2	○2	○前※	○前※	○発生期		○前		+0～ノビエ1.5L(砂壌土は+3～)		●	○
九州	○1.5	○	○2		○2	○2	○前※	○前※	○発生期		○前				●	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BCH-031-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始					●*	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	●再生前～始					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　*:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
BCH-032-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●*	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L		●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	●再生前～始					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　*:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
BCH-033-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	●始	○始※		○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始			●発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L		●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	●再生前～始					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
BCH-044-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前	ｴｿﾞﾉｻﾔﾅｷﾞｻ:2L ﾐｽﾞｱｵｲ:始 SU抵抗性ｸﾛｶﾞﾜｲ:2L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
BCH-045H-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	1kg		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
BCH-045L-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
BCH-051 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	30g×10コ		○
東北	○2.5	○	○2	●始	○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期						●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	●再生前～始					●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BCH-051 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	500ml	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期						●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	●再生前～始					●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BCH-052 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	500ml	●	●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始				●再生前～始						●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　薬液が付着した稲体には白化症状が生ずることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BCH-053 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	500ml	●	●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始				●再生前～始					●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　薬液が付着した稲体には白化症状が生ずることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BCH-062 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	40g×10コ		●
東北																
北陸																
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	40g×10コ		●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BCH-063 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期				+5～ノビエ2.5L	50g×10コ		●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四																
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	50g×10コ		●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BCH-064 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	30g×10コ		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期							●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BCH-064 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	500ml		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期							●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BCH-064-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	1kg		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
散布後の蒸しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
BCH-065L フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始				●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml		●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の蒸しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
DKH-311-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:始 SU抵抗性カタルイ:2L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm SU抵抗性カタルイ:2L			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：オモダカ・クログワイ・シズイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
FSS-115 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○2		○2			○発生始				+5～ノビエ2L	3kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生始				+5～ノビエ2.5L			○
北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始		○発生期							○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始		○発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○

※：クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：泥炭質土壌では効果が低下することがある。
浅植え、植え付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。
田植え前に生育したミズガヤツリには効果が劣ることがある。
クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
HOK-0301 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期				+5～ﾉﾋﾞｴ2.5L	500ml		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期						●	●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期						●	●
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※		○発生期		○前				●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※		○発生期		○前				●	○
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
HOK-0301-1kg 粒

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期		○前	ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｶﾞｻ:2L	+5～ﾉﾋﾞｴ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※		○発生期						○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	○始※		○発生期		○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期		○前				○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
HOK-0401 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ﾉﾋﾞｴ2.5L	500ml	○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理可能 田植同時散布確認(東北)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
HOK-0401-1kg 粒

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ﾉﾋﾞｴ2.5L(砂壌土は+5～)	1kg	○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布確認(東北2)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 低温等による活着不良の場合には薬害が生じる事がある。

A-1
HOK-0401(L) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始			+1～ノビエ2.5L	50g×10ｺ	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HOK-0401(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml	●	○
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

田植同時散布確認(関東・東海,九州)
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HOK-0401(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	1kg		○
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HOK-0501-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L	1kg	●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　低温等による活着不良の場合には薬害が生じる事がある(東北)。

A-1
HOK-0605 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L	50g×10ｺ		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
HOK-0605 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L	500ml		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布確認(東北)
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
HOK-0605-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布確認(北海道,東北)
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
HOK-0605(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HOK-0605(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始				●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	●	●
関東・東海	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2L			●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L			●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HOK-0605S-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2				●再生前～始	●前					●

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HOK-0611-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸																
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L	1kg		●
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
HOK-201D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg		●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
HOK-201DS-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始					●前		+0～ノビエ2.5L	1kg	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
HOK-222 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理可能　田植同時散布可能
※：オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　オモダカ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
HOK-222-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○始	○始		●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※：オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　低温等による活着不良の場合には薬害が生じることがある。(東北)
　　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
HOK-223 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2L	50g×10コ	○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2L(砂壌土は+3～)		○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2L		○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
　　散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
　　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
　　田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HOK-223 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
HOK-223-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
HSW-051-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期				+3～ノビエ2.5L	1kg		●
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
HSW-052 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期				+3～ノビエ2.5L	500ml		●
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
KPP-444-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノミヤマスガレ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L ミズアオイ:1L	+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始 シズイ:草丈3cm SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
KPP-445 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L ミズアオイ:1L	+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
東北	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
KPP-445① フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		SU抵抗性コナギ:始 SU抵抗性ホタルイ:1L			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ1.5L ~~(砂壌土は+3～)~~		○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-004D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○3	○	○2		○2	○2	○始※			○再生前～始			+0～ノビエ3L	1kg	○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-013D-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	250g	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
湛水周縁部散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-013D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○3	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ3L	1kg	○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷｬｶﾞﾗ:発生始			○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-013K-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ3L(砂壌土は+3～)	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｼｽﾞｲ:草丈3cm	+0～ノビエ3L		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-023D ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L	25g×10ｺ	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-023D フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-032 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○2					○発生期				+3～ノビエ2L	25g×10コ	○	○
東北	○2	○	○2	○2	○2				○発生期						○	○
北陸	○2	○	○始		○始				○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2				○発生期						○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始				○発生期						●	○
九州	○2	○	○2		○2				○発生期						○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-041-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ3L(砂壌土は+3～)	1kg	○	○
東北	○3	○	○3	○2	○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始			○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	●前	コウキヤガラ:発生始	+3～ノビエ3L		○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○2	●始※	●始※	○発生期	●再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
MY-100DC フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○始		○前	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L	+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○前※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm	+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理可能 田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
MY-100DC-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2		○前	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
MY-100NC-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
MY-100NDC-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2	○始			○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ3L(砂壌土は+5～)		○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
MY-100TS フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:発生始～3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○前※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

水口処理可能　田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ・オモダカ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NBA-101SB ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2.5L	30g×10ｺ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NBA-941S-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
北陸	○3	○	○2		○2	○2				●再生前～始			+0～ノビエ3L		○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ3L			○
九州	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L		○	○

田植同時散布確認(北陸,近畿・中国・四国)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-385 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	60g(散布液量250～	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
北陸	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

顆粒のまま水口処理が可能　　田植同時散布可能(500ml希釈)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-385SB 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L	+0～ノビエ2.5L	80g(散布液量	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

顆粒のまま水口処理が可能
田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NC-385SB-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期				+0～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-604 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	30g×10コ		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L		●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-604-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四 (茨)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-606 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○始		+5～ノビエ2.5L	30g×10コ	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○始				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○始				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○始				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○始				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○始				●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-607 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L	30g×10ｺ		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-607 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L	60g(散布液量	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+3～)		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○

顆粒のまま水口処理が可能 田植同時散布確認(東北)
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-607-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+3～)		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L			○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四 (普)	○2.5	○	○2		○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				●	○

田植同時散布確認(東北2)
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
NC-609-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				●	○
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
NC-621-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L	1kg		●
東北	●3	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●3	●	●3		●始	●始			●発生期							●
関東・東海	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●3	●	●3		●2	●2				●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NH-051(H) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布確認(北海道,東北)
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
NH-051(H)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始	○発生期	○再生前～始	○前	ﾕｿﾞﾉﾅﾔﾏｽｶｹﾞﾓ:2L	+0～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布確認(北海道,東北)
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
NH-061-1kg(旧KUH-061-1kg) 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●3	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ3L	1kg		●
東北	●3	●	●3		●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●3	●	●2		●始	●2										●
関東・東海	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●3	●3			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L			●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ3L			●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NH-102 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	イボクサ:再生始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NH-104-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始		○発生期	○再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始	○前	イボクサ:再生始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NH-301-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2									+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2		○前										○	○
北陸	○2.5	○	○2		○前										○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2										●*	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2										○	○
九州	○2.5	○	○2		○2										●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:浅植え, 植付け精度不良等で薬害を生ずることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NH-302 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2									+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2		○始										○	○
北陸	○2.5	○	○2		○前										○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2										●*	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2										○	○
九州	○2.5	○	○2		○2										●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:浅植え, 植付け精度不良等で薬害を生ずることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NOJ-103-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ3L(砂壌土は+5～)	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2	○前※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SB-526 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○2					○発生期					500ml	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○2				○発生期						○	○
北陸	○2	○	○2		○2				○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2				○発生期						○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始				○発生期						○	○
九州	○2	○	○2		○始				○発生期						○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SB-556 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期			エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:1L	+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期			シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2						SU:抵抗性ホタルイ:2L イボクサ:再生始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期			イボクサ:再生始			○	○

水口処理可能 田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SB-556-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●2	●始		●始			●発生期				+0～ノビエ2L	1kg		●
東北	●2	●	●2	●始	●2	●始			●発生期							●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始							+0～ノビエ2.5L			●
関東・東海	●2	●	●2		●2	●2			●発生期				+0～ノビエ2L			●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期				+0～ノビエ2.5L			●
九州	●2	●	●2		●2	●2			●発生期				+0～ノビエ2L			●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 活着不良の場合, 散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある(東北)。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SB-559(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SB-563Ⓛ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●始	●始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+3～)		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SB-564 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期				+3～ノビエ2L	30g×10コ	●	○
東北	○2	○	○2	○前	○2	○始			○発生期						●	○
北陸	○2	○	○始		○始	○始			○発生期						●	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2			○発生期						●	○
近・中・四 (畿)	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
九州	○2	○	○2	○始	○2	○2			○発生期						●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SB-564 プロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○2		○始			○発生期			ミズアオイ:2L	+3～ノビエ2L	500ml	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期			シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期						○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始	○始	○始		○発生期						○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期			コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SB-564-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○2		○始			○発生期			ミズアオイ:2L	+3～ノビエ2L	1kg	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期			シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期						○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始	○始	○始		○発生期						○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期			コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SB-570 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●始	●始		●始			●発生期				+0～ノビエ2L	500ml		●
東北	●2	●	●2	●始	●始	●始			●発生期							●
北陸	●2	●	●始		●始	●始			●発生期						●	●
関東・東海	●2	●	●2		●2	●始			●発生期							●
近・中・四	●2	●	●2		●始	●始			●発生期							●
九州	●2	●	●2	●始	●2	●2			●発生期							●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SB-570-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●始	●始		●始			●発生期				+0～ノビエ2L	1kg		●
東北	●2	●	●2	●始	●始	●始									●	●
北陸	●2	●	●始		●始	●始			●発生期						●	●
関東・東海	●2	●	●2		●2	●始			●発生期							●
近・中・四	●2	●	●2		●始	●始			●発生期							●
九州	●2	●	●2	●始	●2	●2			●発生期							●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SL-0601 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●3			●3			●発生期	●再生前～始			+7～ノビエ4L	50g×10コ		●
北陸	●4	●	●4			●2			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海																
近・中・四																
九州	●3	●	●4			●4			●発生期	●再生前～始			+7～ノビエ3L	50g×10コ		●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1
SL-0601-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●4	●4		●3	●草丈10cm※		●発生期	●再生前～始			+14～ノビエ4L	1kg		●
北陸	●4	●	●3			●2			●発生期				+7～ノビエ4L			●
関東・東海	●3	●	●3			●3	●草丈10cm※		●発生期	●再生前～始		コウキヤガラ:始	+7～ノビエ3L			●
近・中・四	●4	●	●3			●3	●草丈10cm		●発生期	●再生前～始			+7～ノビエ4L			●
九州	●3	●	●4			●4			●発生期	●再生前～始		コウキヤガラ:始	+7～ノビエ3L			●

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SL-0602-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●3		●4	●3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	●発生期	●再生前～始		コウキヤガラ:始	+7～ノビエ4L	1kg		●
北陸	●4	●	●4		●2	●2		●矢じり葉抽出前								●
関東・東海	●4	●	●4		●4	●3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	●発生期	●再生前～始		コウキヤガラ:始				●
近・中・四	●4	●	●3		●3	●3	●草丈10cm	●矢じり葉抽出前	●発生期	●再生前～始						●
九州	●4	●	●4		●4	●4				●再生前～始		コウキヤガラ:始				●

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SL-498-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○2	○	○始	○始	○始	○始			○発生期		○前		+0～ノビエ2L	1kg	○	○
北陸	○2	○	○2		○2	○2					○前				○	○
関東・東海	○2	○	○2			○2					○前	イボクサ:再生始			○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2					○前				○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 田植え前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SST-402-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※		○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※		○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SST-403 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●1.5	●	●始	●始	●始	●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ1.5L	40g×10ｺ	●	●
北陸																
関東・東海	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ1.5L	40g×10ｺ		●
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
SST-404 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	40g×10ｺ		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●2			●発生期						●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2L			●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SST-404 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L ミズアオイ:2L	+0～ノビエ2.5L	500ml	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L	+0～ノビエ2.5L		●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+3～)		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始 SU抵抗性ｺﾅｷﾞ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L	+0～ノビエ2.5L		●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前					○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L		○	○

田植同時散布可能
※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキャガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SST-404-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L		●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L		○	○

田植同時散布可能
※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキャガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SW-005Ⓛ フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期				+3～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	イボクサ:再生始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

水口処理可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SW-032 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始	○発生期	○再生前～始	○前	ミゾハギ:ミズガヤ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L	+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SW-032Ⓛ フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布確認(北陸2)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SW-041Ⓗ -1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:1.5L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm SU抵抗性ホタルイ:1.5L			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SW-041Ⓛ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+3～)	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始		SU抵抗性ﾌﾛﾘｴｰﾄ1L SU抵抗性ｶﾌｪｲｴｰﾄ1.5L	+3～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布確認(北陸2)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SW-042Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L	35g×10ｺ	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SW-043-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期		○前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期		○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期		○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SW-052 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期		○前		+1～ノビエ2.5L	50g×10ｺ	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期		○前				●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SW-061-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期				+5～ノビエ2.5L	1kg	●	●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始									●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●
近・中・四　(普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期						●	●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SW-062 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期				+0～ノビエ2.5L	500ml		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期						●	●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期						●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●
九州	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生期							●

田植同時散布確認(東北,関東・東海)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SW-991-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期		○前	ｴﾉｺﾞﾛｳｽｶﾞﾀ:2L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始			○発生期				+5～ノビエ2L			○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2					○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前	ｲﾎﾞｸｻ:再生始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2									○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期						○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SYJ-108 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○始		+5～ノビエ3L	30g×10ｺ	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○始	ｼｽﾞｲ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○始		+1～ノビエ3L		○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始	○始		+1～ノビエ3L(砂壌土は+5～)		○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○始		+5～ノビエ3L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SYJ-150 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ3L(砂壌土は+5～)	500ml	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+3～)	350ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

水口処理可能(北海道,東北:500ml、北陸～九州:350ml)
田植同時散布可能(北海道,東北:500ml、北陸～九州:350ml)
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SYJ-156-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		●始	○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L	+0～ノビエ3L(砂壌土は+5～)	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SYJ-157-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	●再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	1kg		○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性コナギ:1L SU抵抗性ホタルイ:1L			●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+3～)		●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+3～)		●	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SYJ-167-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始					●発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg		●
東北	●1.5	●	●始	●始	●始										●	●
北陸	●2	●	●始		●始								+0～ノビエ2L		●	●
関東・東海	●2	●	●2		●始				●前							●
近・中・四	●2	●	●始		●始				●前							●
九州	●1.5	●	●始		●始								+0～ノビエ1.5L			●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
TH-001-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:1L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※		○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:基大3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
TH-122-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期		○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+0～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前		±0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
TH-224 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:基大3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		●*	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		±0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　*:浅植え、植付け精度不良等で薬害を生ずることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
TH-421 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	40g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期		○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
TH-547(Z) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	40g×10コ		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期						●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
TH-547(Z) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ2.5L	500ml		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●2.5	●	●始		●始	●始			●発生期							●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●

北陸は全面散布
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	●再生前～始					●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
THI-913CS ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸																
関東・東海	●2	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2L	50g×10コ		●
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
YH-652 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期		○前		+5～ノビエ2.5L	50g×10コ	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期						●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-2 体系(初期)

A-2
AKD-7138 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道											●盛		移植後藻類発生始～盛期	500ml		●
東北											●盛					●
北陸											●盛				●	●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
AKD-7155 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1	●	●始	●始							●始		+0～ノビエ1L	500ml		●
東北	●1	●	●始	●始	●始						●始				●	●
北陸	●1	●	●前		●前						●前					●
関東・東海	●1	●	●始		●前						●前					●
近・中・四	●1	●	●始		●前											●
九州	●1	●	●始		●始						●始					●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。

A-2
CGM-71 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始		○始		●始					植代時(～-4),+0～ノビエ1L	500ml	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○始	○始		○始							○	○
北陸	○1	○	○始		○始	○始		●始							○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始	○始		●始※							○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始	○始		●始							○	○
九州	○1	○	○始		○始	○始		●始※							○	○

水口処理可能 田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
KH-183(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始							○始		+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始						○始		植代後～-4,+0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始						○始				○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始						○始				○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始						○始		植代後～-4,+3～ノビエ1.5L		○	○
九州	○1.5	○	○始		○始						○始				○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
KPP-2012 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始		○始							+0～ノビエ1L	500ml	○	○
東北	○1	○	○始	○前	○始	○始							植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○
北陸	○1	○	○始		○始	○前									○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始	○始									○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始	○始									○	○
九州	○1	○	○始		○始	○始									○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　深水条件では薬害を生じることがある。

A-2
KUH-958 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始										植代後～-4,+0～ノビエ1L	500ml	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○前		○前※						植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○
北陸	○1	○	○始		○始		○前※						植代後～-4,+0～ノビエ1L(*:砂壌土は移植前処理を除く)		○*	○
関東・東海	○1	○	○始		○始		○前※						+0～ノビエ1L		○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始		○前※						植代後～-4,+0～ノビエ1L(早期は移植前処理を除く)		○	○
九州	○1	○	○始		○始		○前※								○	○

水口処理可能　　田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　深水条件では薬害を生じることがある。
　　クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-2
MY-100MS フロアブル(少量散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始		○始							+0～ノビエ1L	300ml	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○始	○始									○	○
北陸	○1	○	○始		○始	○始									○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始	○始									○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始	○始									○	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

一発処理型除草剤の前処理として少量散布(300ml/10a)が可能。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
NSK-863 フロアブル(少量散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●1	●	●始	●始	●始								植代後～-4,+0～ノビエ1L	300ml	●	●
北陸	●1	●	●前		●前										●	●
関東・東海	●1	●	●始		●始											●
近・中・四	●1	●	●始		●前								植代後～-4,+0～ノビエ1L(*:砂壌土は移植前処理を除く)		●*	●
九州																

一発処理型除草剤の前処理として少量散布(300ml/10a)が可能。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
SB-528 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始								ミズアオイ:始	植代後～-4,+0～ノビエ1L	500ml	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○始		○前※					シズイ:発生前 コウキヤガラ:前			○	○
北陸	○1	○	○始	○始	○始		○前※					コウキヤガラ:前			○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始		○前※								○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始		○前※								○	○
九州	○1	○	○始		○始		○前※					コウキヤガラ:発生始			○	○

水口処理可能　田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
コウキヤガラ防除は、コウキヤガラに有効な一発処理剤との体系で使用する
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　深水条件では薬害を生じることがある。
クログワイ・シズイ・コウキヤガラ防除は、有効な剤との組み合わせで使用する

A-2
SB-528(L) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始									+0～ノビエ1L	500ml	○	○
東北	○1	○	○始	○前			○前※						植代時～-4,+0～ノビエ1L		○	○
北陸	○1	○	○始		○前		○前								○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始		○前※								○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始		○前								○	○
九州	○1	○	○始	○前	○始										○	○

植代時は土壌混和処理　田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-2
SB-529-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始									+0～ノビエ1L	1kg	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○前								植代時～-4,+0～ノビエ1L		○	○
北陸	○1	○	○始	○始											○	○
関東・東海	○1	○	○始		○前		○前※						+0～ノビエ1L		○	○
近・中・四	○1	○	○始		○前								植代時～-4,+0～ノビエ1L		○	○
九州	○1	○	○始										+0～ノビエ1L		○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　深水条件では薬害を生じることがある。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-2
YH-650 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期				+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始		○前			○発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始			○始		○前	○発生期						○	○
関東・東海	○1.5	○	○始			○始		○前※	○発生期			SU抵抗性ホタルイ:有			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始			○始		●前	○発生期						○	○
九州	○1.5	○	○始			●始		●前※	●発生期						○	○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　SU抵抗性ホタルイ防除は、有効な剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
YH-650-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始		○前			○発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始			○始		●前	○発生期						○	○
関東・東海	○1.5	○	○始			○始		●前※	○発生期						○	○
近・中・四	○1.5	○	○始			○始		●前	○発生期						○	○
九州	○1.5	○	○始			●始		●前※	●発生期						○	○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
YH-651 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期				+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始	○前※	●前	○発生期						○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	○前※	●前※	○発生期		○始				○	○
近・中・四 (茨)	○1.5	○	○始		○始	○始	○前※	●前	○発生期		○前				○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	●始		●前※	●発生期						○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
YH-651-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始		○始	○始	○前※		○発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始	○前※	●前	○発生期						○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	○前※	●前※	○発生期						○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	○前※	●前	○発生期						○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	●始	○前※	●前※	●発生期						○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙｰ1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○前								ﾐｽﾞｱｵｲ:始	+0～ノビエ1L	1kg	○	○
東北	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+0～ノビエ1L(砂壌土は+1～)		○	○
北陸	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始										○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+1～ノビエ1L		○	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 浅植え，植え付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。

A-2
ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ 乳

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始									植代時(-4まで),+1～ノビエ1L	300～500ml(田し植代時は400～800ml)		○
東北	○1	○	○始	○始	○前									300～500ml		○
北陸	○前	○	○前		○前								植代時(-4まで)	350～500ml		○
関東・東海	○前	○	○前		○前									300～500ml		○
近・中・四 (普)	○前	○												350～500ml		○
九州 (普)	○前	○														○

植代時は土壌混和処理
混和時の水深3～5cm
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-3 体系(中後期)

A-3
DASH-001 SC

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○5	○	○花茎抽出始	○5		○4			○生育期	○生育期			+25～+40(イネ6L以降,ノビエ5Lまで)	100ml(散布液量	○	○
東北	○5	○	○花茎抽出始	○4	○4	○4	○草丈20cm※	○草丈30cm※	○生育期	○生育期					○	○
北陸	○5	○	○花茎抽出始		○4	○5	○草丈30cm	○草丈30cm	○生育期	○生育期					○	○
関東・東海	○5	○	○花茎抽出始		○5	○5	○草丈30cm※	○草丈30cm※	○生育期	○生育期					○	○
近・中・四	○5	○	○花茎抽出始		○5	○5	○草丈30cm	○草丈30cm		○生育期		ｸｻｷｮ:生育期(草丈20cm以下)			○	○
九州	○5	○	○花茎抽出始		○6	○6			○生育期	○生育期					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組合せで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。
オモダカ・クログワイ防除有効な剤との組み合わせで使用する。

A-3
DBH-1294-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3												+15～+40(ノビエ3Lまで)	1kg		●
東北	○3															○
北陸	○3															○
関東・東海	○3															○
近・中・四	○4												+15～+40(ノビエ4Lまで)			○
九州	○3												+15～+40(ノビエ3Lまで)			○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
DBH-1294-1kg 粒(1.5kg/10a)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●4												+15～+40(ノビエ4Lまで)	1.5kg		●
東北	○4															○
北陸																
関東・東海	○4												+15～+40(ノビエ4Lまで)	1.5kg		○
近・中・四	○5												+15～+40(ノビエ5Lまで)			○
九州	○4												+15～+40(ノビエ4Lまで)			○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
DEH-112 乳(EW)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○6												+25～ノビエ6L	100ml注)	○	○
東北	○6														○	○
北陸	○6												+25～ノビエ6L		○	○
関東・東海	○6											キシュウスズメノヒエ*	+25～ノビエ6L		○	○
近・中・四	○6											キシュウスズメノヒエ* アゼガヤ:生育期(草丈60cm以下)			○	○
九州	○6											キシュウスズメノヒエ* アゼガヤ:生育期(草丈60cm以下)			○	○

注)散布液量25～100L/10a。ただし、25～50L散布は少水量散布用ノズルを使用。展着剤加用。
*: 再生茎3～6葉期(関東・東海～九州)、畦畔からの匍匐茎1m以内(関東・東海～九州)
畦畔からの侵入個体には全体にかける(関東・東海～九州)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
DEH-112-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○5												+15～ノビエ5L	1～1.5kg(ノビエ4Lを超える場合は1.5kg)	○	○
東北	○5														○	○
北陸	○5														○	○
関東・東海	○5											キシュウスズメノヒエ:再生茎2～4葉			○	○
近・中・四	○5											キシュウスズメノヒエ:再生茎2～4葉 アゼガヤ:生育期(草丈20cm以下)			○	○
九州	○5											キシュウスズメノヒエ:再生茎2～4葉 アゼガヤ:生育期(草丈20cm以下)			○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
キシュウスズメノヒエ防除は展開葉が水面に接する条件で使用する。(関東・東海～九州)

A-3
KUH-031 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4	○	○4	○3		○4		○発生盛期～矢尻葉抽出期					+15～+35(ノビエ4Lまで)	3kg	○	○
東北	○4	○	○4	○4	○3	○3		○発生盛期～矢尻葉抽出期							○	○
北陸	○4	○	○4		○3	○4		○発生盛期～矢尻葉抽出期							○	○
関東・東海	○4	○	○4		○4	○4		○発生盛期～矢尻葉抽出期							○	○
近・中・四	○4	○	○4		○4	○3		○発生盛期～矢尻葉抽出期							○	○
九州	○4	○	○4		○4	○4		○発生盛期～矢尻葉抽出期					+15～+35(ノビエ4Lまで)		○	○

※:オモダカ防除は、有効な前処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　ごく浅水で散布し、2日間は入水しない。
散布後に降雨等で湛水されると効果が低下することがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-3
KUH-073-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3.5	●	●3	●2		●2					●始		+20～+30(イネ5L以降、ノビエ3.5Lまで)	1kg		●
東北	●3.5	●	●3	●2	●3	●2			●発生期		●始		+20～+35(イネ5L以降, ノビエ3.5Lまで)		●	●
北陸	●3.5	●	●3		●2	●2			●発生期		●始		+20～+30(イネ5L以降, ノビエ3.5Lまで)		●	●
関東・東海	●3.5	●	●3		●3	●3			●発生期		●前					●
近・中・四	●3.5	●	●3		●3	●3					●前					●
九州 (早)	●3.5	●	●3	●2	●4	●4			●発生期							●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。

A-3
KUH-983-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●4												+15～+35(ノビエ4Lまで)	250g		●
東北	●4														●	●
北陸	●4														●	●
関東・東海	●4															●
近・中・四	●4															●
九州	●4															●

周縁部散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-3
NC-612-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3.5	○	○4	○3		○4		○生育期(矢尻葉3Lまで)※	○発生期	○再生前～始	○始		+15～+35(ノビエ3.5Lまで)	1kg	○	○
東北	○3.5	○	○3	○3	○3	○2	○生育期(草丈30cm以下)※	○生育期(矢尻葉3Lまで)※	○発生期	○再生前～始	○始	コウキヤガラ:草丈30cm シブイ:生育期(草丈30cm以下)	+15～+35(ノビエ3.5Lまで)		○	○
北陸	○3.5	○	○3		○3	○3	○生育期(草丈30cm以下)※	○生育期(矢尻葉3Lまで)※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3.5	○	○3		○3	○3	○生育期(草丈30cm以下)※	○生育期(矢尻葉3Lまで)※	○発生期	○再生前～始	○始	イボクサ:生育期(茎長20cm以下) SU抵抗性ミゾハコベ:3L SU抵抗性ホタルイ:3L コウキヤガラ:草丈30cm			○	○
近・中・四	○3.5	○	○3		○3	○3	○生育期(草丈30cm以下)※	○生育期(矢尻葉3Lまで)※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
九州	○3.5	○	○4		○4	○4	○生育期(草丈30cm以下)※	○生育期(矢尻葉3Lまで)※	○発生期	○再生前～始	○始	コウキヤガラ:草丈30cm			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネ4L未満では、薬害を生じることがある(関・東)
前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
SB-551-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○3	○	○3		○2	○2							+20～+30(イネ5L以降,ノビエ3Lまで)	1kg	○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2			○発生期						○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2			○発生期						○	○
九州	○3	○	○3		○2				○発生期						○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
SL-0401 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●マツバイ	●4			●3			●生育期				+14～+35(ノビエ4Lまで)	50g×10コ	●	●
北陸	●4		●3			●2			●生育期							●
関東・東海																
近・中・四																
九州	●3		●4	●2		●4			●生育期				+14～+35(ノビエ3Lまで)	50g×10コ		●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-3
SL-0401 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●マツバイ	●4	●3		●3			●生育期				+14～+35(ノビエ4Lまで)	22g(散布液量500ml)	●	●
北陸	●4		●3			●2			●生育期							●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
SL-0401-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4		○4	○3		○4			○生育期				+20～+35(ノビエ4Lまで)	1kg	○	○
東北	○4		○4			○3	●草丈10cm※		○生育期				+14～+35(ノビエ4Lまで)		○	○
北陸	○4		○4			○3			○生育期						○	○
関東・東海	○4		○4			○3			○生育期			コウキヤガラ:草丈10cm	+7～+35(ノビエ4Lまで)		○	○
近・中・四	○4		○4			○4	●草丈10cm		○生育期						○	○
九州	○4		○4			○3			○生育期			コウキヤガラ:発生始	+7～+35(ノビエ4Lまで)		○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
SL-0401-1kg(1.5kg/10a処理) 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○5		○4	○4		○4			○生育期				+30～+40(ノビエ5Lまで)	1.5kg	○	○
東北	○5		○花茎抽出始			○4	●草丈15cm※		○生育期						●	○
北陸	○5		○4			○4			○生育期				+14～+40(ノビエ5Lまで)		●	○
関東・東海	○5		○5			○4	●草丈15cm※		○生育期			コウキヤガラ:草丈15cm			○	○
近・中・四	○5		○5			○4	●草丈15cm		○生育期				+14～+40(ノビエ5Lまで。砂壌土は+30～)		○	○
九州	○5		○5			○4			○生育期			コウキヤガラ:発生始	+14～+40(ノビエ5Lまで)		○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
SL-0601-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●4			●3	●草丈10cm※		●生育期	●再生前～始			+14～+35(ノビエ4Lまで)	1kg		●
北陸	●4	●	●3			●3			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●3	●	●4			●3	●草丈10cm※		●生育期	●再生前～始		コウキヤガラ:発生始	+14～+35(ノビエ3Lまで)			●
近・中・四	●4	●	●4			●3	●草丈10cm		●生育期				+14～+35(ノビエ4Lまで)			●
九州																

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
SL-0604-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●4	●	●4	●4		●3			●発生期		●始		+14～+35(イネ5L以降、ノビエ4Lまで)	1kg		●
東北	●4	●	●4	●3	●3	●3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	●生育期				+14～+35(イネ4L以降,ノビエ4Lまで)			●
北陸	●4	●	●4		●3	●3	●草丈10cm	●矢じり葉抽出前	●発生期		●始				●	●
関東・東海	●4	●	●4		●4	●3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	●発生期		●始	コウキヤガラ:発生始				●
近・中・四	●4	●	●4		●3	●3	●草丈10cm	●矢じり葉抽出前	●生育期		●始					●
九州 (早)	●3	●	●4		●4	●4			●発生期			コウキヤガラ:発生始	+14～+35(イネ4L以降, ノビエ3Lまで)			●

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
SL-0611 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●5		●4	●3		●4	●生育期(草丈20cm以下)※		●生育期			コウキヤガラ:生育期(草丈20cm以下)	+14～+40(イネ4L以降、ノビエ5Lまで)	30g(散布液量100L)		●
北陸																
関東・東海	●4		●5			●5	●生育期(草丈20cm以下)※		●生育期			コウキヤガラ:生育期(草丈20cm以下)	+14～+40(イネ4L以降, ノビエ4Lまで)	30g(散布液量100L)		●
近・中・四																
九州																

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し, 2日間以上入水しない。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
SL-0613 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●5	●	●花茎抽出始	●3	●5	●4	●生育期(草丈30cm以下)※	●* ※	●生育期	●生育期		コウキヤガラ:生育期(草丈30cm以下)	+14～+40(イネ4L以降、ノビエ5Lまで)	1000g(散布液量100L)		●
北陸																
関東・東海	●5	●	●5		●5	●4	●生育期(草丈30cm以下)※	●*	●生育期	●生育期		コウキヤガラ:生育期(草丈30cm以下)	+14～+40(イネ4L以降, ノビエ5Lまで)	1000g(散布液量100L)		●
近・中・四	●5	●	●5		●5	●5	●生育期(草丈30cm以下)	●*	●生育期	●生育期						●
九州																

*:発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し, 2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
SW-051-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○3.5	○	○3		○3	○3	●草丈20cm※	●広線形葉4L※	○発生期	○再生前～始			+20～+30(ノビエ3.5Lまで)	1kg	●	○
北陸	○3.5	○	○3		○3	○3		●広線形葉4L	○発生期	○再生前～始						○
関東・東海	○3.5	○	○3		○4	○3	●草丈20cm※	●広線形葉4L※	○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四 (畿)	○3.5	○	○3		3 ○2	○3			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○3.5	○	○3		○4	○4			○発生期						●	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関・東)

A-3
SW-063-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●5	●	●3	●4		●4			●発生期				+25～+40(イネ4L以降、ノビエ5Lまで)	1kg		●
東北	●5	●	●花茎抽出始	●4	●5	●2			●発生期				+25～+40(ノビエ5Lまで)		●	●
北陸	●5	●	●5		●4	●3			●生育期	●生育期					●	●
関東・東海	●4	●	●5		●4	●4			●生育期	●生育期			+25～+40(ノビエ4Lまで)			●
近・中・四	●4	●	●4		●3	●4			●生育期							●
九州	●5	●	●5		●5	●6			●生育期				+25～+40(ノビエ5Lまで)			●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4　特殊雑草対象(アゼガヤ)

A-4 アゼガヤ
DEH-112 乳(EW)

地域名	対象雑草:　アゼガヤ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			100ml(散布水量100L)
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四	●	生育期(草丈60cm以下)	
九州	○	生育期(草丈60cm以下)	

使用上の注意:

A-4　特殊雑草対象(イボクサ)

A-4 イボクサ
BAG-032 ジャンボ

地域名	対象雑草:　イボクサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			20g×10コ
東北	●	再生始	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意:

A-4　特殊雑草対象(エゾノサヤヌカグサ)

A-4 エゾノサヤヌカグサ
DKH-311-1kg 粒

地域名	対象雑草:　エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意:

A-4 エゾノサヤヌカグサ
KPP-444-1kg 粒

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヌカグサ
NH-051(H) フロアブル

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	500ml
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヌカグサ
NH-051(H)-1kg 粒

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヌカグサ
NH-403 フロアブル

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	500ml
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヌカグサ
SW-032 フロアブル

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	500ml
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 特殊雑草対象(オモダカ)

A-4 オモダカ
BCH-031-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四				
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ
BCH-032-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ
BCH-033-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州	○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
BCH-044-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州	○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
BCH-045L-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	○	始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:　オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
CGM-71 フロアブル

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		500ml
東北	○	始		
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
DKH-311-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
HOK-222 フロアブル

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
HOK-222-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
KPP-445① フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
KUH-013D-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
KUH-021-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
KUH-041-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
MY-100DC(L) フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
MY-100DC(L)-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
NC-606-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
NC-607-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
NH-051(H) フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
NH-051(H)-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
NH-403 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
NHF-401 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				3kg
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
NOJ-101-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	前	※	1kg
東北	○	前	※	
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四				
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SB-563①-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SL-0602-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	矢じり葉抽出前	※	
北陸	●	矢じり葉抽出前		
関東・東海	●	矢じり葉抽出前	※	
近・中・四	●	矢じり葉抽出前		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SL-0604-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	矢じり葉抽出前	※	
北陸	●	矢じり葉抽出前		
関東・東海	●	矢じり葉抽出前	※	
近・中・四	●	矢じり葉抽出前		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SL-0613 顆粒水和

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1000g(散布液量100L)
東北	●	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)	※	
北陸				
関東・東海	●	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)	※	
近・中・四	●	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SL-496(L) 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				3kg
東北	●	始		
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SST-404 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	500ml
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SST-404-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SW-005① フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	○	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SW-032 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SW-042Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				35g×10ｺ
東北				
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SW-051-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	広線形葉4L	※	
北陸	●	広線形葉4L		
関東・東海	●	広線形葉4L	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SW-751 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				3kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SYJ-108 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	30g×10ｺ
東北	○	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四				
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SYJ-150 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	500ml
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	350ml
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
SYJ-156-1kg 粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
TH-224 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	500ml
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
YH-650 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	○	前		
関東・東海	○	前	※	
近・中・四	●	前		
九州	●	前	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
YH-650-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	前		
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	●	前		
九州	●	前	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
YH-651 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	前		
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	●	前		
九州	●	前	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
YH-651-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	前		
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	●	前		
九州	●	前	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(クログワイ)

A-4 クログワイ
BCH-031-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
BCH-032-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
BCH-033-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
BCH-044-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
BCH-045L-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	○	始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:　クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
DKH-311-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
G-315B 乳

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	前	※	
北陸	●	前	※	
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	○	前	※	
九州	●	前	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
HOK-0301 フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
KUH-013D-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
KUH-021-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
KUH-041-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
MAT-159 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北	●	前	※	
北陸	●	前		
関東・東海	○	前	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NC-604 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	○	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	○	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NC-606-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NC-607-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NH-051(H) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NH-051(H)-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NH-403 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NOJ-101-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	前	※	
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	前	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
NOJ-104-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SB-563①-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SB-554 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北	○	前	※	
北陸				
関東・東海	○	前	※	
近・中・四	○	前		
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SB-564 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四	○	始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SB-564-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四	○	始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SL-0401-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	草丈10cm	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四	●	草丈10cm		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SL-0401-1kg(1.5kg/10a処理) 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1.5kg
東北	●	草丈15cm	※	
北陸				
関東・東海	●	草丈15cm	※	
近・中・四	●	草丈15cm		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SL-0601-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	草丈10cm	※	
北陸				
関東・東海	●	草丈10cm	※	
近・中・四	●	草丈10cm		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SL-0602-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	草丈10cm	※	
北陸				
関東・東海	●	草丈10cm	※	
近・中・四	●	草丈10cm		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SL-0604-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	草丈10cm	※	
北陸	●	草丈10cm		
関東・東海	●	草丈10cm	※	
近・中・四	●	草丈10cm		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SL-0611 顆粒水和

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				30g(散布液量100L)
東北	●	生育期(草丈20cm以下)	※	
北陸				
関東・東海	●	生育期(草丈20cm以下)	※	
近・中・四	●	生育期(草丈20cm以下)		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SL-0613 顆粒水和

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1000g(散布液量100L)
東北	●	生育期(草丈30cm以下)	※	
北陸				
関東・東海	●	生育期(草丈30cm以下)	※	
近・中・四	●	生育期(草丈30cm以下)		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SST-402-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SST-403 フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SST-403-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SST-404 フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SST-404-1kg 粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SW-005Ⓛ フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	○	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SW-032 フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SW-042Ⓛ ジャンボ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				35g×10コ
東北				
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SW-051-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	草丈20cm	※	
北陸				
関東・東海	●	草丈20cm	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する(東北)。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(関・東)。

A-4 クログワイ
SYJ-108 ジャンボ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				30g×10コ
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SYJ-150 フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	350ml
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
SYJ-156-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
TH-224 フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(コウキヤガラ)

A-4 コウキヤガラ
KPP-2005 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			50g×10ｺ
東北			
北陸			
関東・東海	●	前	
近・中・四			
九州			

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
KPP-2005(H) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(少量散布)

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			300ml
東北			
北陸			
関東・東海	●	前	
近・中・四			
九州			

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
KPP-2008 乳(EW)

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	前	
北陸			
関東・東海	●	前	
近・中・四			
九州	●	前	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
KPP-2008-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	前	
北陸			
関東・東海	●	前	
近・中・四			
九州	●	前	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
KPP-444①-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
KPP-444-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	始	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
KUH-013D-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
KUH-021-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	始	
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	○	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
KUH-041-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	始	
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
NC-612-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	草丈30cm	
北陸			
関東・東海	●	草丈30cm	
近・中・四			
九州	○	草丈30cm	

使用上の注意:

A-4 コウキヤガラ
SB-554 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			50g×10ｺ
東北	●	前	
北陸			
関東・東海	●	前	
近・中・四			
九州	●	前	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
SB-554 ﾌﾛｱｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	前	
北陸			
関東・東海	●	前	
近・中・四			
九州	●	前	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
SL-0401-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	草丈10cm	
近・中・四			
九州	●	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
SL-0401-1kg(1.5kg/10a処理) 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1.5kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	草丈15cm	
近・中・四			
九州	●	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
SL-0601-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
SL-0602-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	始	
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
SL-0604-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
SL-0611 顆粒水和

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			30g(散布液量100L)
東北	●	生育期(草丈20cm以下)	
北陸			
関東・東海	●	生育期(草丈20cm以下)	
近・中・四			
九州	●	生育期(草丈20cm以下)	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
SL-0613 顆粒水和

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1000g(散布液量100L)
東北	●	生育期(草丈30cm以下)	
北陸			
関東・東海	●	生育期(草丈30cm以下)	
近・中・四			
九州	●	生育期(草丈30cm以下)	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
SST-404 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
SST-404-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
TH-122-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
TH-224 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
TH-421 ジャンボ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			40g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
YH-651 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ
YH-651-1kg 粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(シズイ)

A-4 シズイ
DKH-311-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ
HOK-222 フロアブル

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ
NH-051(H) フロアブル

地域名	対象雑草:　シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意:　シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ
NH-403 フロアブル

地域名	対象雑草:　シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意:　シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ
SW-005 フロアブル

地域名	対象雑草:　シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意:　シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ
SW-041(H) -1kg 粒

地域名	対象雑草:　シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意:　シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ
SYJ-150 フロアブル

地域名	対象雑草:　シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意:　シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ
TH-224 フロアブル

地域名	対象雑草:　シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意:　シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4　特殊雑草対象(ミズアオイ)

A-4 ミズアオイ
DKH-311-1kg 粒

地域名	対象雑草:　ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	始	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意:

A-4 ミズアオイ
KPP-445 フロアブル

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	500ml
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
NC-385SB 顆粒水和

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	80g(500ml)
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
NC-385SB-1kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
SST-404-1kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 特殊雑草対象(SU抵抗性コナギ)

A-4 SU抵抗性コナギ
SST-404-1kg 粒

地域名	対象雑草: SU抵抗性コナギ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	2L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 特殊雑草対象(SU抵抗性ホタルイ)

A-4 SU抵抗性ホタルイ
BCH-044-1kg 粒

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ
DKH-311-1kg 粒

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北	●	2L	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ
NC-385SB-1kg 粒

地域名	対象雑草:　SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	○	2L	1kg
東北	●	2L	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意:

A-4 SU抵抗性ホタルイ
SST-404-1kg 粒

地域名	対象雑草:　SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北	●	2L	
北陸			
関東・東海	●	2L	
近・中・四			
九州			

使用上の注意:

B　直播栽培

B
BCH-044-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量 /10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●2.5	●	●2		●2	●始							イネ1L～ノビエ 2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　出芽時に湛水条件になると薬害を生じる。

B
BCH-045L-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量 /10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●2								イネ1L～ノビエ 2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
DASH-001 SC

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量 /10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●5	●	●4	●4	●4	●4			●生育期	●生育期			イネ6L以降, ノビエ5Lまで	100ml(散布液量 100L)		●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する
落水もしくは浅水で散布し, 2日間以上入水しない。

B
DKH-311-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量 /10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～東北	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ 2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
HOK-221 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	○2.5	○	○2		○2	○2				●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	50g×10ｺ	●	○

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、薬害や効果不足が生じることがある。

B
HOK-222 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～東北	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	500ml		●

湛水直播　湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
HOK-223-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●2	●2							イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
HOK-225-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	○3	○	○2		○2	●2							イネ1L～ノビエ3L	1kg		○

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
KUH-013D ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	25g×10ｺ	●	○

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、薬害や効果不足が生じることがある。

B
KUH-031 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●4	●	●4										イネ3L以降, ノビエ4Lまで	3kg		●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する
ごく浅水で散布し, 2日間以上入水しない。
散布後に降雨等で湛水されると効果が低下することがある。

B
KUH-911 液(入水前)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四	○5	○											ノビエ3L～ノビエ5L(入水前)	100～200ml(散布液量100L)		○

乾田直播
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　処理後黄化症状がみられる場合がある。

B
KUH-911 液(入水後)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四												イボクサ:30cm クサネム:40cm	イネ4L以降(入水後)	50～100ml(散布液量100L)		○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　落水もしくは浅水で散布し，2日間以上入水しない。
前処理剤との組み合わせで使用する。
処理後黄化症状がみられる場合がある。

B
NBA-941S-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域(北海道を除く)	○3	○	○2	○2	○2	●始				○再生前～始			イネ1L～ノビエ3L	1kg	●	○

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
NC-331 水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
関東・東海～九州		○	○前		○前	○前			○発生期	○再生前～始			入水前10～2日(イネ2L以降，雑草草丈30cm以下)	90～180g(散布液量100L)		○

乾田直播
乾田条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

B
NC-385SB-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	●2.5	●	●2		●始	●始				●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
NH-104-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	○2.5	○	○2		○2	○2							イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		○

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
PSS(L)D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域(九州を除く)	○2	○	○2		○2	○2			○発生期				イネ1.5L～ノビエ2L(砂壌土はイネ2L～)	1kg	○	○

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。
前処理剤との組み合わせで使用する。

B
SB-528 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	○前	○	○前		○前								代かき後～-4	300ml	○	○

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 出芽時に湛水条件になると薬害を生じる。

B
SB-563Ⓛ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●2	●2							イネ1L～ノビエ2.5L	1kg	●	●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
SL-0401-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●3		●3			●2							イネ3L以降, ノビエ3Lまで	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する

B
SL-0401-1kg(1.5kg/10a処理) 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～近・中・四	●4		●4			●3							イネ3L以降, ノビエ4Lまで	1.5kg		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する

B
SST-402-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg	●	○

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
SW-005Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●2	●始							イネ1L～ノビエ2.5L	500ml		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
SW-032 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～東北	●2.5	●	●2		●2								イネ1L～ノビエ2.5L	500ml		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
SW-041Ⓗ -1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始							イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
SW-042Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
関東・東海～九州	●2.5	●	●2		●2	●始							イネ1L～ノビエ2.5L	35g×10ｺ		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、薬害や効果不足が生じることがある。

B
SW-991-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期				イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
TH-001 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	○再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	40g×10ｺ		○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、薬害や効果不足が生じることがある。

B
TH-001 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	500ml	●	○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
TH-001-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg	●	○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
TH-122-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●2.5	●	●2		●2	●2							イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
TH-224 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～近・中・四	●2.5	●	●2	●2	●2	●始				●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	500ml		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
TH-421 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●始				●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	40g×10コ		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、薬害や効果不足が生じることがある。

C　畦畔雑草

C
NC-622 液

地域名	対象雑草	処理時期	使用量(散布液量) /10a	適用土壌
全域	①雑草全般 ②スギナ ③アシカキ、キシュウスズメノヒエ、ハイコヌカグサ等多年生イネ科雑草, セリ	①雑草生育期(草丈30cm以下) ②スギナ生育期(草丈30cm以下) ③雑草生育期(草丈30cm以下)	①200～500ml(散布液量25～100L, 25～50Lは専用ノズルを使用) ②1500～2000ml(散布液量25～100L, 25～50Lは専用ノズルを使用) ③500～1000ml(散布液量25～100L, 25～50Lは専用ノズルを使用)	全土壌
使用上の注意:　水田内に流入または飛散すると薬害を生じる。				

C
ZK-122 液

地域名	対象雑草	処理時期	使用量(散布液量) /10a	適用土壌
全域	①全草種 ②スギナ	①雑草生育期(草丈30cm以下) ②スギナ生育期(草丈30cm以下)	①一年生雑草:250～500ml、多年生雑草:500～1000ml(散布液量50～100L, 50Lは専用ノズルを使用) ②スギナ:1500～2000ml(散布液量50～100L、50Lは専用ノズルを使用)	全土壌
使用上の注意:　のり面には使用しない。 水田内に流入または飛散すると薬害を生じる。				

D　耕起前

D
ZK-122 液

地域名	対象雑草	処理時期	使用量(散布液量) /10a	適用土壌
全域	一年生雑草全般	耕起前(草丈30cm以下)	250～500ml (散布液量25～100L, 25～50Lは専用ノズルを使用)	全土壌
使用上の注意:				

E　休耕田

E
NC-622 液

地域名	対象雑草	処理時期	使用量(散布液量) /10a	適用土壌
全域	①雑草全般 ②スギナ	①雑草生育期(草丈1m以下) ②スギナ生育期(草丈30cm以下)	一年生雑草:200～500ml 多年生雑草:500～1000ml スギナ:1500～2000ml (散布液量25～100 L, 25～50Lは専用ノズルを使用)	全土壌
使用上の注意:				

E
ZK-122 液

地域名	対象雑草	処理時期	使用量(散布液量) /10a	適用土壌
全域	雑草全般(スギナを除く)	雑草生育期(草丈50cm以下)	一年生雑草:250～500ml 多年生雑草:500～1000ml (散布液量50～100 L, 50Lは専用ノズルを使用)	全土壌
使用上の注意:				

使用基準の更新

以下の剤について、使用基準を策定した。

1. 過去の使用基準を元に現行の様式による使用基準を策定。
2. 過去の使用基準に特殊雑草対象の本年度判定結果を加え、使用基準を策定。

A-1
BAG-032 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○2	○	○始	○始		○始		○前※	○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ:2L	20g×10コ	○	○
東北		○2	○	○2	○始	○始	○始	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前	イボクサ:始 SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
北陸		○2	○	○2		○始	○始	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海		○2	○	○2		○2	○始	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L SU抵抗性コナギ:2L			○	○
近・中・四		○2	○	○2		○2	○2	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州		○2	○	○2		○2	○2	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
KPP-444Ⓛ-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道															1kg		
東北																	
北陸		○1.5	○	○始		○始	○始	○始	○始※					+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
関東・東海		○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始 SU抵抗性コナギ:始 SU抵抗性ホタルイ:1L			○	○
近・中・四		○1.5	○	○始		○始	○始	○始	○始※		○再生前～始	○前				○	○
九州		○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始			○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-021-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○3	○	○2	○2		○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:2L	+3～ノビエ3L(砂壌土は+7～)	1kg	○	○
東北		○3	○	○3	○始	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始 シズイ:草丈3cm			○	○
北陸		○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海		○3	○	○3		○3	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始 SU抵抗性コナギ:2L			○	○
近・中・四		○3	○	○3		○3	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州		○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
MY-100DC(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道															500ml		
東北																	
北陸		○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:1L	+0～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四		○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州		○2.5	○	○2	○前	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
田植同時散布可能(北陸,関東・東海,近畿・中国・四国)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
MY-100DC(L)-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道															1kg		
東北																	
北陸		○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●始※		○再生前～始			+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四		○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州		○2.5	○	○2	○前	○2	○2	○始※	○始※	○再生前～始	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
田植同時散布可能(北陸,関東・東海,近畿・中国・四国)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NC-604 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L	+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※		○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸		○2.5	○	○2		○2	○2	●始		○発生期						○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NC-606-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○始		+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北		○2.5	○	○2	○始	○始	○始		●始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
北陸		○2.5	○	○2		○2	○始		●始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
近・中・四		○2.5	○	○2		○2	○2	○始	●始※		○再生前～始	○始				○	○
九州		○2.5	○	○2		○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NH-403 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	地域判定	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		●始	○発生期	○再生前～始	○前	ｺﾞﾏﾉﾊｶｶﾞﾐ:2L	+5～ﾉﾋﾞｴ2.5L	500ml	○	○
東北		○2.5	○	○2		○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																	
関東・東海																	
近・中・四																	
九州																	

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
NOJ-101-1kg 粒

地域名	地域判定	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○3	○	○2	○2		○2		○前※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ﾉﾋﾞｴ3L(砂壌土は+5～)	1kg	○	○
東北		○3	○	○2	○2	○2	○2	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前	ｼｽﾞｲ:草丈3cm			○	○
北陸		○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海		○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ﾉﾋﾞｴ3L		○	○
近・中・四		○3	○	○2		○2	○2	○前※		○発生期	○再生前～始	○前		+0～ﾉﾋﾞｴ3L(砂壌土は+5～)		○	○
九州		○3	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NOJ-104-1kg 粒

地域名	地域判定	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道															1kg		
東北																	
北陸		○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ﾉﾋﾞｴ3L	1kg	○	○
関東・東海		○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四		○3	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期	○再生前～始	○前		+0～ﾉﾋﾞｴ3L(砂壌土は+5～)		○	○
九州		○3	○	○2	○2	○2	○2	●始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SB-554 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	地域判定	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1.5	○	○始	○始					○発生期				+0～ﾉﾋﾞｴ1.5L	50g×10ｺ	○	○
東北		○1.5	○	○始		○始				○発生期			ｼｽﾞｲ:草丈3cm			○	○
北陸		○1.5	○	○始		○始				○発生期						○	○
関東・東海		○1.5	○	○始		○始		○前※		○発生期						○	○
近・中・四		○1.5	○	○始		○始	○前			○発生期						○	○
九州		○1.5	○	○始	○前	○前	○前	●始※		○発生期						○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SB-554 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1.5	○	○始	○始					○発生期			SU抵抗性ホタルイ:1.5L	+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
東北		○1.5	○	○始		○始		○前※		○発生期			コウキヤガラ:発生前 シズイ:草丈3cm			○	○
北陸		○1.5	○	○始		○始		○前		○発生期						○	○
関東・東海		○1.5	○	○始		○始		○前※		○発生期			コウキヤガラ:発生前 イボクサ:再生始 SU抵抗性コナギ:1L			○	○
近・中・四		○1.5	○	○始		○始	○前			○発生期						○	○
九州		○1.5	○	○始	○前	○始	○前			○発生期			コウキヤガラ:発生前			○	○

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SL-496① 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期					3～4kg		○
東北		○2	○	○2	○2	○始	○2		●始	○発生期							○
北陸		○2	○	○2	○2	○始	○2			○発生期						○	○
関東・東海 ####		○2	○	○2	○2	○始	○2			○発生期					3～4kg(+0～+2は3kg)	○	○
近・中・四		○2	○	○2		○始	○2			○発生期						○*	○
九州 ####		○2	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○

*:早期のみ
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　砂壌土では著しい高温条件で薬害(白化)を生じることがある。
泥炭質土壌では効果が低下することがある。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SL-970 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量(/10a)	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○発生期				+0～ノビエ1.5L		○	○
東北		○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生期						○	○
北陸		○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生期						○	○
関東・東海		○2	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
近・中・四		○2	○	○2		○2	○2			○発生期						○*	○
九州		○2	○	○2		○2	○2			○発生期							○

*:普通期のみ　水口処理可能
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SST-403 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
東北		○1.5	○	○始	○前	○始	○始	●始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸		○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海		○1.5	○	○始		○始	○始	●始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四		○1.5	○	○始		○始	○始	●始		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州		○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1
SST-403-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北		○1.5	○	○始	○始	○始	○始	●始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸		○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海		○1.5	○	○始		○始	○始	●始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四		○1.5	○	○始		○始	○始	●始		○発生期	○再生前～始					○	○
九州		○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
G-315B 乳

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道															250～350ml		
東北		○前	○	○前	○前	○前		●前※						植代時(-4まで)		○	○
北陸		○前	○	○前	○前	○前		●前※								○	○
関東・東海		○前	○	○前		○前		●前※								○	○
近・中・四		○前	○	○前		○前		○前※									○
九州　(普)		○前	○	○前		○前		●前※									○

土壌混和処理
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
KPP-2005 ジャンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1	○	○始	○始									+0～+5(ノビエ1L)	50g×10コ	○	○
東北		○1	○	○始	○始	○前		○前※						植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)		○	○
北陸		○1	○	○前		○前		○前※						植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○
関東・東海		○1	○	○始		○始		○前※					コウキヤガラ:発生前			○	○
近・中・四		○1	○	○始		○前		○前※								○	○
九州		○1	○	○始		○前		○前※						植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)		○	○

体系処理の前処理として50g×10コ/10a処理が可能
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
KPP-2005(H) フロアブル(少量散布)

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1	○	○始										+0～+5(ノビエ1L)	300ml	○	○
東北		○1	○	○始		○前		○前※						植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○
北陸		○1	○	○始		○始										○	○
関東・東海		○1	○	○始		○始		○前※					コウキヤガラ:発生前			○	○
近・中・四		○1	○	○始		○始		○前※								○	○
九州		○1	○	○始		○始		○前※								○	○

※クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
一発処理型除草剤の前処理として少量散布(300ml/10a)が可能。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
KPP-2008 乳(EW)

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1	○	○始	○前								ミズアオイ:始	+0～+5(ノビエ1L)	500ml	○	○
東北		○1	○	○始		○始		○前※					コウキヤガラ:発生前	植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○
北陸		○1	○	○始		○始		○前※								○	○
関東・東海		○1	○	○始		○始		○前※					コウキヤガラ:発生前 SU抵抗性コナギ:始			○	○
近・中・四		○1	○	○始		○始		○前※								○	○
九州		○1	○	○始		○始		○前※					コウキヤガラ:発生前			○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　深水条件では薬害を生じることがある。
イネに付着すると軽微な薬害を生じることがある。
クログワイ・SU抵抗性コナギ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
KPP-2008-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1	○	○始	○始									+0～+5(ノビエ1L)	1kg	○	○
東北		○1	○	○始	○前	○始		○前※					コウキヤガラ:発生前	植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○
北陸		○1	○	○始		○始		○前								○	○
関東・東海		○1	○	○始		○始		○前※					コウキヤガラ:発生前 SU抵抗性コナギ:始 SU抵抗性ホタルイ:始			○	○
近・中・四		○1	○	○始		○始		○前						植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L) (砂壌土は+0～)		○	○
九州		○1	○	○始		○始							コウキヤガラ:発生前	植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　深水条件では薬害を生じることがある。
クログワイ・SU抵抗性コナギ・SU抵抗性ホタルイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
MAT-159 ジャンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1	○	○始	○始									+1～ノビエ1L	50g×10コ	○	○
東北		○1	○	○始	○始	○前		●前※						植代後～-4,+1～ノビエ1L		○	○
北陸		○1	○	○始		○前		●前								○	○
関東・東海		○1	○	○始		○始		○前※								○	○
近・中・四		○1	○	○始		○始										○	○
九州		○1	○	○始		○始										○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2
SL-498E-1kg粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1.5	○	○始	○始					○発生前		○前		+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北		○1.5	○	○始	○始	○始	○始					○前				○	○
北陸		○1.5	○	○始		○始	○始									○	○
関東・東海		○1.5	○	○始		○始	○始			○発生前		○前				○	○
近・中・四		○1.5	○	○始		○始	○始					○始		+0～ノビエ1.5L(普通期の砂壌土はノビエ1Lまで)		○	○
九州		○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期				+0～ノビエ1.5L		○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
SL-970 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量(/10a)	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1	○	○始	○始									植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○
東北		○1	○	○始	○始	○始										○	○
北陸		○1	○	○始		○始										○	○
関東・東海		○1	○	○始									イボクサ:再生始			○	○
近・中・四		○1	○	○始												○	○
九州		○1	○	○始												○	○

初期剤として500ml/10a散布が可能。
水口処理可能　　田植同時散布可能
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
SL-970 フロアブル(少量散布)

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量(/10a)	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○前	○	○前										+0～+5(ノビエ発生前)			○
東北		○1	○	○始										+0～ノビエ1L		○	○
北陸		○1	○	○始												○	○
関東・東海		○1＊	○	○始										+0～ノビエ1L(*:早期はノビエ始まで)		○	○
近・中・四		○1＊	○	○始										+0～ノビエ1L(*:砂壌土はノビエ始まで)		○	○
九州																	

一発処理型除草剤の前処理として少量散布(300ml/10a)が可能。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
SW-751 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○1	○	○始	○2					○発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1L	3～4kg		○
東北		○1	○	○始	○2	○始	○2		●始※	○発生期						○	○
北陸		○1	○	○始	○2	○始	○2			○発生期						○	○
関東・東海 ####		○1	○	○始		○始	○2		○始※	○発生期						○	○
近・中・四		○1.5	○	○始		○始	○2			○発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1.5L		○	○
九州 ####		○2	○	○始		○始	○2			○発生期				植代後～-4,+0～ノビエ2L		○	○

※:オモダカ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　砂壌土では著しい高温条件で薬害(白化)を生じることがある。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

水稲関係除草剤使用基準の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。
(本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む)
草種欄の数字、字句で草種ごとの葉齢を示した。[例:○始(発生始)、○2(2葉期まで)]
作期に限定がある場合は、地域名の後に適用作期を普通期:(普), 早期:(早)と記した。
使用上の注意は別途一覧表に沿って文章で備考欄に記載した。
2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、
処理時期及び使用量を記載した。
C(畦畔), D(耕起前), E(休耕田)の試験区分において、判定欄の○は前年度までに実用化の
認められている地域を示す。
3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合、
作期の拡大：作期の限定がなくなった場合、作期の記載を取消線で消した。(例: ~~(普)~~)
草種の拡大：拡大可能となった草種に●を印した。
葉齢の拡大：拡大可能となった葉齢に、アンダーラインを付した。(例: ○2.5)
処理時期,使用量の拡大：拡大部分にアンダーラインを付した。(例: +3～ﾊﾋﾞｴ2L, 250～500ml/10a)
土壌条件の拡大：拡大可能となった土壌に●を印した。

植調協会だより

◎　人事異動

・平成20年1月31日
退職　　鴨居　道明

・平成20年2月　1日
任　　研究所嘱託　　鴨居　道明

編集後記

今年の正月7ヶ日は暖かい日が続き，毎日の天気予報では小春日和と表現されていた。地球温暖化はここまで進んだのかと憂えたが成人の日の祝日を過ぎる頃から寒波が次々と日本列島を通過して一変して本来の日本の冬の気候となった。特に2月の節分の日には東京でも積雪を記録し，さらに2月9日～10日にかけて全国的に雪を降らせ東北から北海道では吹雪となり冬の嵐となった。

こうした寒い冬ではあるが大自然の営みは節分を過ぎると確実に春の訪れを知らせてくれる植物が現われる。その代表的なものとしてはフクジュソウ，ミズバショウ、ザゼンソウ，などである。フクジュソウ，ミズバショウはあまりにも有名で広く一般に知られているがザゼンソウは知る人ぞ知る程度である。

ザゼンソウは，ミズバショウなどと同じサトイモ科の植物でミズバショウと同じ環境に生育する。山裾の清水が流れるような湿地にはえる多年草で本州中部以北から北海道にかけて分布する。春先雪融けがはじまると冷たい水が流れる湿地に大きな仏焔包をかぶったザゼンソウが現われる，その中には楕円状の肉穂花序があり，仏焔包は舟形で紫黒色，花序は黄色味を帯びている。この花序の様子が僧が座禅をしているようだということから座禅草という名がついたといわれる。附近にはまだ残雪があり冷たい風が吹くが，仏焔包の中に僧が座り無念無想の境地で座禅を組む。正に修行僧の姿が想像できる。しかし，このザゼンソウは形は面白いがいささか悪臭があるのが玉にキズ。ザゼンソウが山裾で見られると春はもうすぐそこまで忍び寄っている。　㋐

▲ザゼンソウ

財団法人　日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話　(03) 3832-4188 (代)
FAX (03) 3833-1807
http://www.japr.or.jp/

編集人　日本植物調節剤研究協会　会長　小川　奎
発行人　植調編集印刷事務所　廣田伸七

発行所　東京都台東区台東1－26－6　全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話　(03) 3833－1821 (代)
FAX　(03) 3833－1665

平成20年2月発行定価525円(本体500円＋消費税25円)
植調第41巻第11号　(送料270円)
印刷所　㈲ネットワン

難防除雑草対策の新製品

イッテツ® フロアブル 1キロ粒剤 ジャンボ

期待の新製品

SU抵抗性雑草対応・田植同時処理にも対応 ドニチ®S 1キロ粒剤 / ヨシキタ® 1キロ粒剤 フロアブル

殺虫成分入り（スクミリンゴガイ食害防止） ショウリョク® ジャンボ

2成分のジャンボ剤 ゴヨウダ® ジャンボ

大好評の既存剤

ポ～ンと手軽に クラッシュ® EX ジャンボ

安定した効果の初中期一発剤 ドニチ® 1キロ粒剤

アピロイーグル® フロアブル

アワード® フロアブル

キックバイ® 1キロ粒剤

草闘力® ふろあぶる

クラッシュ® 1キロ粒剤

シェリフ® 1キロ粒剤

シーゼット® フロアブル

バトル® 粒剤

ロンゲット® フロアブル

大地のめぐみ、まっすぐ人へ SCC GROUP

住友化学

住友化学株式会社

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト i-農力 http://www.i-nouryoku.com

DU PONT® The miracles of science™

米国生まれ、米の国育ち、DPX-84

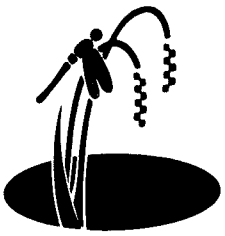
1987年に上市したベンスルフロンメチル（DPX-84）は、

●抵抗性雑草対策場面でも

●田植え同時でも

●直播栽培でも

多様な剤型で、これからも日本の水田除草をお手伝いします。



上記マークがついている除草剤にはDPX-84が含まれています。

®は米国デュポン社の登録商標です。

デュポン株式会社 農業製品事業部 〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1

植調第四十一巻第十一号（通巻第四百七十八号）
平成二十年二月発行

豆つぶ®除草剤
パットフルエース®
新発売
250グラム・L250グラム
水稲用初・中期一発処理剤
やや深めの水深で散布!!
豆まき感覚カンタン除草
しつこい草にもエースの効き目!
実物大写真（製剤）
大型圃場では動力散布機をご利用ください!
自然に学び自然を守る
クミカ
®はクミアイ化学工業(株)の登録商標です。
●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
JAグループ
農協 全農 全国本部・県本部 経済連
クミアイ化学工業株式会社
本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5131
MY-100

いのちの輝きを見つめる
Meiji
私たちは、夢と楽しさ、いのちの輝きを大切にし、
世界の人々の心豊かなくらしに、貢献します。
Agricultural Chemicals
Foods
Pharmaceuticals
天然物で確実除草
ハービー®液剤
明治製菓株式会社
104-8002 東京都中央区京橋2-4-16
http://www.meiji.co.jp/nouyaku